

平成 29 年度 事 業 報 告 書

社会福祉法人 淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	3
4.	施設内・外研修参加報告	4
5.	実習・施設見学実施報告	6
6.	年間行事及び地域交流報告	8
7.	各事業別報告	
7-1.	特別養護老人ホーム	
7-1(1).	(1) 施設実績	10
7-1(2).	(2) 入居者状況	11
7-1(3).	(3) 施設相談員・介護支援専門員	16
7-1(4).	(4) 施設看護	17
7-1(5).	(5) 各ユニット	22
7-2.	短期入所生活介護事業所	27
7-3.	通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	30
7-4.	居宅介護支援事業所	35
7-5.	淑徳おゆみ診療所	36
7-6.	千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘	37
7-7.	栄養	49
8.	各委員会・部会活動報告	52
9.	防災対策報告	59
10.	法話会活動報告	60
11.	ボランティア受入報告	63
12.	家族会実施報告	65

1. 総括

開苑10周年の記念事業等も行い、事業活動も広がる中順調な事業展開が図れた反面、いくつか課題も明確になった一年でした。特に、入所及び通所サービスの事業実績の低下に伴う減収となっている。主な要因は、近年になく入退所者の増と稼働内容の悪化、さらに入院者増及び職員確保・補充などの問題も重なり厳しい運営状況でした。千葉市のあんしんケアセンター事業で追加された白旗出張所の事業は順調に展開でき、担当する圏域地域住民への周知も図られ、円滑な活動実績を挙げることができた。診療所事業は外来患者数も安定し、収益も確保できている。介護保険施設と医療機関が一体となった診療所として、地元地域に定着し支持されている。

施設サービスの稼働内容の低下は、入所者の重度者・病弱者の増加が激しく、更に新規入所者の超高齢化と疾患対応もあり年々困難になってきている。感染症対策を充分に取り組んでいたが1ヶ月以上の期間でインフルエンザを数名発症し、20名以上の学生が取り組む現場実習の時期とも重なり対応に大変苦慮した。次年度以降も年間を通じて様々な実習を実施していくが、冬季の感染症対策を徹底し、教育内容の領域ごとの専門職養成に合わせた実習内容を工夫し、実践力を育む実習教育の拠点としての役割を果たして行く。また、EPAベトナム介護福祉士候補生は、2名とも介護福祉士に合格でき引き続き実務に就いている。

各事業運営の安定を図る上で人材確保と育成が要となるので、それぞれの事業部門ごとに中核を担える職員を配置し、事業活動を発展できるよう組織の強化と各事業活動の連携を図る体制の見直し等が急務となっている。

施設長 林 房吉

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月2日	6名	1名	第1号議案 平成28年度事業報告、決算について 第2号議案 定時評議会の召集について 第3号議案 新役員選任（案）について 第4号議案 役員等報酬支給基準（役員等報酬規程）について
第2回	6月20日	6名	1名	第1号議案 社会福祉法人淑徳福祉社会理事長の選定について 第2号議案 社会福祉法人淑徳福祉社会業務執行理事の選定について
第3回	9月12日	6名	1名	第1号議案 平成29年度第一次補正予算（案）について 第2号議案 規程の制改定について
第4回	12月6日	6名	1名	第1号議案 平成29年度第二次補正予算（案）について 第2号議案 諸規定の改定について 第3号議案 開苑10周年記念事業について
第5回	3月19日	6名	2名	第1号議案 平成29年度第三次補正予算（案）について 第2号議案 平成30年度事業計画（案）について 第3号議案 平成30年度当初予算（案）について 第4号議案 規定の一部改正について 第5号議案 諸契約について 第6号議案 永年勤続表彰について

評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月20日	6名	1名	第1号議案 平成28年度事業報告、決算について 第2号議案 社会福祉法人淑徳福祉社会新役員等選任について 第3号議案 役員等報酬支給基準（役員等報酬規程）について

3. 職員配置・入退職状況

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

特養（短期入所含む）入所定員 100 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（管理者）	1	1	-
生活相談員	2	2	-
看護師	3	5	2
主任介護職員	1	1	-
介護職員	34	51	8
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員・庶務員	-	3	1
宿直員	-	5	5
計	45	73	16

通所（認知症対応型含む）利用定員 35 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(2)	(2)	-
生活相談員	2	2	-
看護師	1	3	3
介護職員	5	10	5
運転手	-	1	1
計	8 (2)	16 (2)	9

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
主任介護支援専門員	-	1	-
介護支援専門員	1	1	-
計	1 (1)	2 (1)	0

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	2	1
事務員	-	2	2
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	8

あんしんケアセンター松ヶ丘

・白旗出張所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	-
保健師・看護師	3	2	-
主任介護支援専門員	3	4	-
社会福祉士	3	4	-
事務員	2	2	1
介護支援専門員	-	2	1
計	11 (1)	14 (1)	2

職員入退職状況（平成 29 年度中）

職種	入職	有期↔正規雇用	退職
正規雇用職員	12	0	8
有期契約職員	6	2	3
計	18	2	11

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、参加人数	
4月	25日	援助者的基本姿勢 35名
5月	16日	食事について 24名
	23日	オムツについて（講義・実践） 22名
6月	13日	食中毒予防のための衛生的な手洗いについて 24名
	20日	ハンドタッチケアについて 12名
	27日	身体拘束廃止について 25名
7月	11日	基礎介護技術「排泄」・・・快適な排泄に向けて 21名
8月	29日	事故防止研修「誤薬について」 24名
	31日	頸関節症とは・・・看護・介護に必要な予備知識！ 25名
9月	5日	ノロウイルス感染症対策 27名
	12日	基礎介護技術「入浴」 28名
	19日	水分補給について 20名
	21日	口腔ケアについて（唾液腺とは） 24名
	26日	褥瘡の予防ケア：体圧分散・スキンケア 26名
10月	3日	権利擁護と虐待について 21名
	31日	低栄養の栄養管理 24名
11月	7日	喀痰・吸引について…喀痰・吸引の基礎知識と手順 24名
	14日	認知症の理解「入浴拒否がある方の介助について」 「ヒートショックについて」 23名
	21日	千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘の取り組みについて 30名
12月	5日	介護用品について 25名
	12日	基礎介護技術「褥瘡」とスケルトン車イス実演 25名
	19日	ハンドタッチケアについて 15名
1月	23日	穏やかな最期を迎えるには 27名
	26日	背骨が動けば腰痛にならない身体になれる 19名
2月	6日	基礎介護技術「トランス」 18名
	20日	認知症への理解～事例検討 18名
	27日	苦情対応について 27名
3月	6日	居宅の介護支援専門員業務について 17名
	13日	高齢者における薬物動態について 25名
	20日	苑外研修発表「権利擁護・身体拘束」「ユニットケア部会研修」 26名
		計 701名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
6月	14~15日	千葉市老人福祉協議会 新人研修	1名
7月	6日	千葉県高齢者施設協会 新規採用職員合同研修会	2名
	11日	中央区介護支援専門員研修会	2名
	28日	第1回生浜地区地域福祉連携会議	1名
	29日	淑徳大学 特別講演	1名
8月	27・28日	大巖寺研修	2名
9月	7~8日	第53回関東ブロック老人福祉施設研究総会	1名
10月	23~25日	千葉県高齢者福祉施設協会 ユニットリーダー養成研修	1名
11月	24日	中央区他職種連携会議	1名
	25日	淑徳大学 学内福祉学会、臨床心理センター公開講座	2名
	30日	千葉県高齢者施設協会 介護・看護合同研修会	2名
12月	7・8・15日	千葉市老人福祉施設協議会 高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修	1名
3月	5日	千葉県高齢者福祉施設協会 施設長及び担当者研修会	1名
	6日	千葉県高齢者福祉施設協会 ユニットケア部会研修	1名
	8日	千葉県高齢者福祉施設協会 介護支援専門員現任研修	1名
	12日	千葉県高齢者福祉施設協会 外国人介護士交流会	2名
	29日	千葉県介護支援専門員協議会 介護保険改正。報酬改定研修会	4名
			計 26名

5. 実習・見学実施報告

見学・実習（大乗淑徳学園関連）実施状況

月	日程	学部等	内容	人数
8月	1~21日	総合福祉	相談援助実習（3年生）	5名
	7日~25日	総合福祉	相談援助実習（3年生）	2名
	29・30・31日	看護栄養	老年看護学実習Ⅰ	7名
9月	5・6・7日	看護栄養	老年看護学実習Ⅰ	7名
	11~15日（4日間）	看護栄養	管理栄養士臨地実習 2グループ	計5名
10月	5日	総合福祉	実践心理学科 見学実習	6名
	16~31日（10日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習） 5グループ	計109名
	17日	関連法人	社会福祉法人マハヤナ学園 施設見学	16名
11月	1日（半年間）	大学院	臨床心理配属実習	1名
	6~14日（6日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習） 3グループ	計68名
	30~12月16日（12日間）	総合福祉	実践心理学科 体験実習 3グループ	計6名
1月	22~2月2日（12日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 2グループ	計43名
	29日~2月19日	淑徳短大	介護福祉士実習（1年生） 第2段階	1名
2月	5~16日（12日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 2グループ	計42名
	26~3月3日（6日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 1グループ	23名
3月	5~24日（18日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 3グループ	計62名
	27日	総合福祉	相談援助実習（基礎実習） 実習振返り	1名
				計404名

見学・実習（他学校・他団体）実施状況

月	日程	内容	人数
5月	25日	中国 吉林省人文学院学長他視察	6名
	30日	中国 王氏他介護施設関係者	6名
6月	9日	大学結城教授3年生クラス あんしんケアセンター見学	12名
7月	13日	EPAベトナム介護福祉士4期候補生 施設見学	27名
	19日	社会福祉法人一石会 特別養護老人ホーム大洋園 研修	8名
9月	13日	帝京平成大学 看護学科3年生老年看護学見学実習	60名
	28日	台湾 新北市職員視察	19名
11月	9日	鎌ヶ谷市自治会連合協議会北部地区 施設見学	44名
	9日	中国福建省廈門 南普陀寺慈善会日本介護使節団 施設見学	11名
	25日	ベトナム人材養成学校関係者の見学	13名
	15~17日（3日間）	千葉市立蘇我中学校 職場体験学習	2名
12月	4~8日（5日間）	社会福祉法人佑啓会 ふる里学舎 施設研修受入	1名
	12日	中国 西安市より視察	14名
	28日	旭市 社会福祉法人ロザリオの聖母会施設見学	2名
			計 225名



淑徳大学 相談援助実習



淑徳大学 相談援助実習（導入実習）

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4月	1日～ 2日 13日 28日	苑内 外出 苑内 苑内	花見月間 新任者研修 お花見 降誕会	特養・デイにてお花見のため外出 新任職員を対象とする研修 大巌寺へお花見のため外出 宗教行事及びボランティア演芸披露
	2日 11日 29日 31日	外出 苑内 地域 外出	鯉のぼり見学 「母の日」会 生実町内運動会 ショッピングモールへの外出	村田川へ外出し・鯉のぼり鑑賞 カーネーションプレゼントなど 職員が地域の催しに参加 地域の商業施設へ外出
	4日 8日 16日 29日	苑内 苑内 苑内 苑内	家族会清掃奉仕・総会・懇談会 父の日バイキング 大巌寺幼稚園・慈光保育園交流会 生実池へ外出	特養家族会による清掃奉仕・総会・懇談会 喫茶サイホンにて居酒屋風におやつ提供 特養を園児が訪問し遊戯などを実施 生実池へ外出しハスを鑑賞するなど
	1日～ 7日 23日	苑内 苑内 苑内	七夕 盂蘭盆会 納涼祭	本物の竹を用意し、苑内に短冊を設置 宗教行事及びボランティア演芸披露 家族・地域関係者など招き夏祭りを開催
8月	2日 13日 15日	外出 地域 苑内	淑徳大学スペシャルナイター 生実商業会大抽選会 生実町花火大会	野球観戦のため外出 職員2名が参加・お手伝い 地元花火大会を4階月影堂などから見学
	18日 18日 21日 22日	苑内 地域 外出 苑内	敬老会 10周年記念行事 生実地区敬老会 葛西臨海水族園へ外出 大巌寺幼稚園・慈光保育園交流会	敬老のお祝い・記念表彰 地域の敬老会に参加 水族館を見学 特養を園児が訪問し遊戯などを実施
	1日 7日 8日 12日	苑内 地域 地域 苑内	開所十周年記念式典 生実神社祭礼前夜湯立て式 生実町青年会奉納演芸大会 運動会	来賓の方々をお招きし記念式典を挙行 地域神社の式典 地域の演芸会 おゆみホールにて運動会を開催
11月	3日 9日 22日 29日	地域 外出 苑内 地域	生浜地区体育祭 ショッピングモールへの外出 デイサービス文化祭 生実商工業会忘年会	地域の体育祭に参加 地域の商業施設へ外出 利用者様の作品展示など 職員2名が参加
	1日 9日 14日 26日	苑内 苑内 苑内 苑内	成道会 家族会清掃奉仕・懇談会 クリスマス会 餅つき会	宗教行事及びボランティア演芸披露 家族会による清掃・懇談会を開催 特養・デイにてイベント開催 おゆみホールにて餅つき大会開催
	1日 11日	苑内 苑内	共生苑初詣 新春ニューカラコンサート	共生苑内での初詣を実施 淑徳大学看護栄養学部生のコーラス慰問

月	日付	場所	行事	内容
2月	2日	苑内	涅槃会	宗教行事及びボランティア演芸披露
3月	1日～ 29日	苑内 外出	雛祭り お花見	正面玄関にひな人形を設置 大巌寺へお花見に外出

(特養ユニット毎の行事は P22～、デイサービスの行事は P33 に掲載)

- ・毎週木曜：特養合同レク
- ・毎週金曜：法話会
- ・第 2・4 水曜：外部講師によるミュージックケア（特養・デイ）
- ・第 3 水曜：外部講師によるリハビリレク（特養・デイ）
- ・隔週金曜日：ボランティアによる演奏披露（特養）
- ・月 2 回：ボランティアによる書道教室（特養）
- ・月 2 回：ボランティアによる書道教室（デイ）
- ・月 1 回：ボランティアによる生け花教室（デイ）



外出レク（地域の商業施設）



苑内レク（運動会）



淑徳共生苑開園 10 周年記念式典

7. 各事業別報告

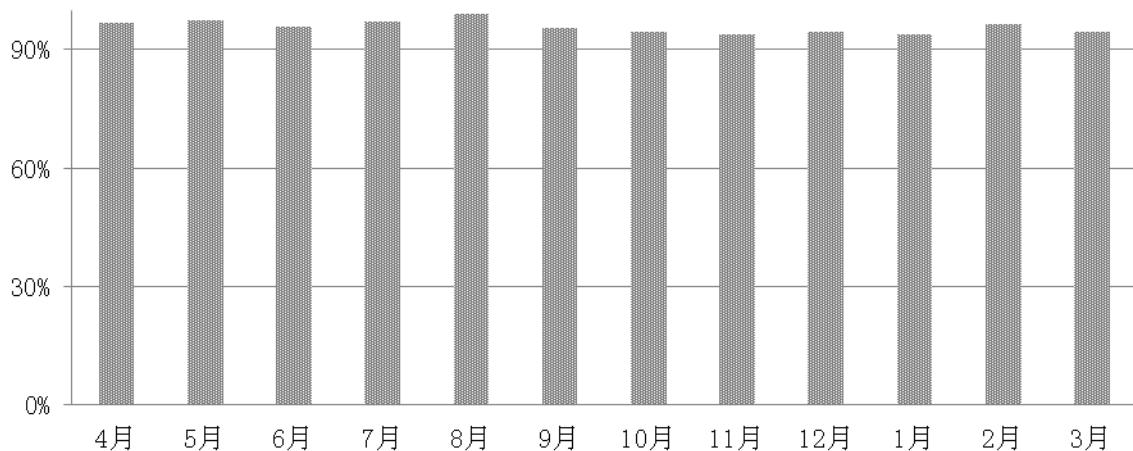
7-1. 特別養護老人ホーム

(1) 施設実績

年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	150	300	730	900	532	2,612	96.74%
5月	155	310	791	855	611	2,722	97.56%
6月	150	180	749	933	574	2,586	95.78%
7月	155	217	763	957	620	2,712	97.20%
8月	155	217	771	971	650	2,764	99.07%
9月	150	180	690	955	600	2,575	95.37%
10月	124	155	779	961	620	2,639	94.59%
11月	120	150	780	909	573	2,532	93.78%
12月	124	155	758	930	669	2,636	94.48%
1月	93	155	742	960	666	2,616	93.76%
2月	84	140	700	936	569	2,429	96.39%
3月	93	155	716	1047	625	2,636	94.48%
月平均							95.77%

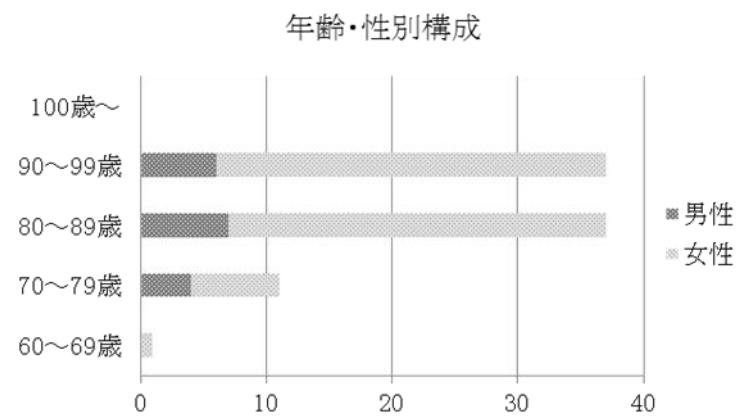
年間稼働率



(2) 入居者状況 (平成 30 年 3 月 31 日時点)

年齢・性別構成

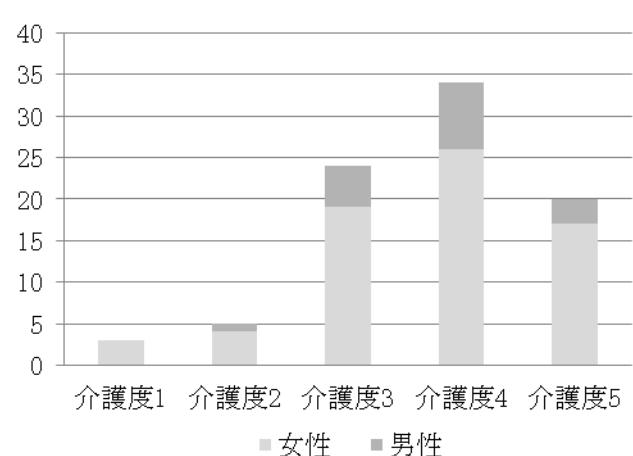
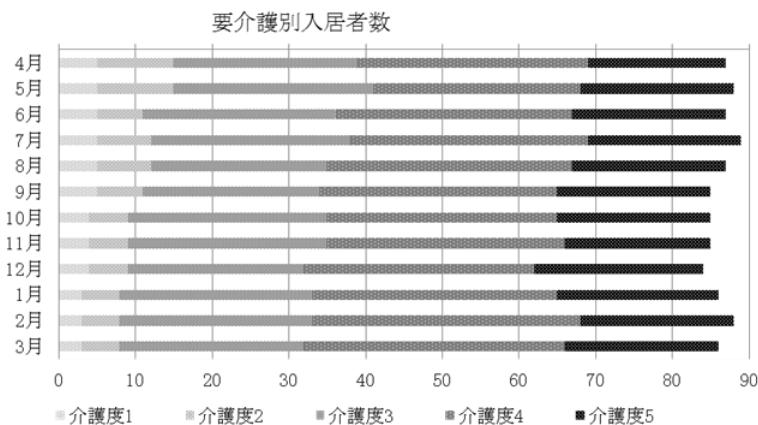
年齢	男性	女性	計
60~69 歳	0	1	1
70~79 歳	4	7	11
80~89 歳	7	30	37
90~99 歳	6	31	37
100 歳~	0	0	0
合計	17	69	86
平均年齢	87.6 歳	88.4 歳	88.3 歳



性別・要介護度別入居者数 (数値は月末時点)

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4月	0	5	1	9	5	19	8	22	2	16	87	3.68
5月	0	5	1	9	6	20	6	21	3	17	88	3.66
6月	0	5	1	5	6	19	6	25	3	17	87	3.64
7月	0	5	1	6	7	19	6	25	3	17	89	3.64
8月	0	5	1	6	5	18	7	25	4	16	87	3.60
9月	0	5	1	5	5	18	6	25	4	16	85	3.58
10月	0	4	1	4	5	21	6	24	4	16	85	3.57
11月	0	4	1	4	5	21	6	25	3	16	85	3.60
12月	0	4	1	4	4	19	6	24	3	19	84	3.58
1月	0	3	1	4	5	20	7	25	3	18	86	3.60
2月	0	3	1	4	5	20	8	27	3	17	88	3.56
3月	0	3	1	4	5	19	8	26	3	17	86	3.52

要介護度状況 (3月)

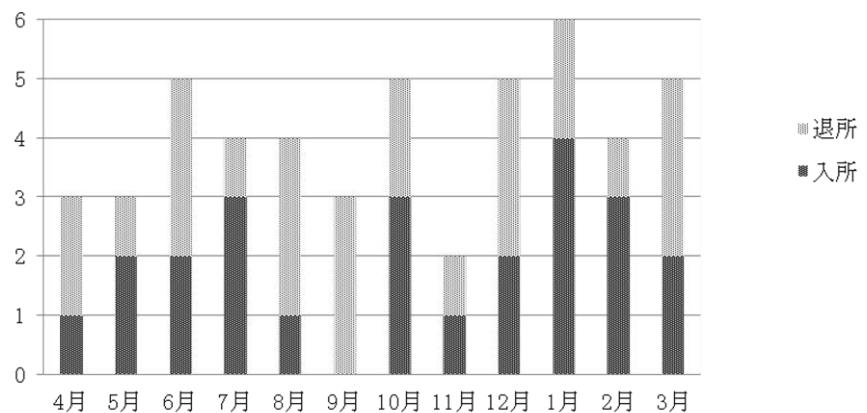


入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	4月 18日	女	92	有料
2	5月 10日	女	82	居宅
3	5月 16日	男	91	居宅
4	6月 14日	女	87	居宅
5	6月 28日	女	81	病院
6	7月 11日	女	87	病院
7	7月 18日	男	90	老健
8	7月 27日	女	87	老健
9	8月 22日	女	92	有料
10	10月 13日	女	87	サービス付高齢者住宅
11	10月 16日	女	91	居宅
12	10月 17日	女	83	老健
13	11月 22日	女	83	老健
14	12月 14日	女	98	老健
15	12月 18日	女	81	居宅
16	1月 10日	男	74	有料
17	1月 11日	男	81	居宅
18	1月 23日	女	94	居宅
19	1月 25日	女	89	グループホーム
20	2月 5日	男	84	居宅
21	2月 15日	女	77	老健
22	2月 27日	女	85	病院
23	3月 26日	女	83	病院
24	3月 29日	女	89	居宅

退所状況

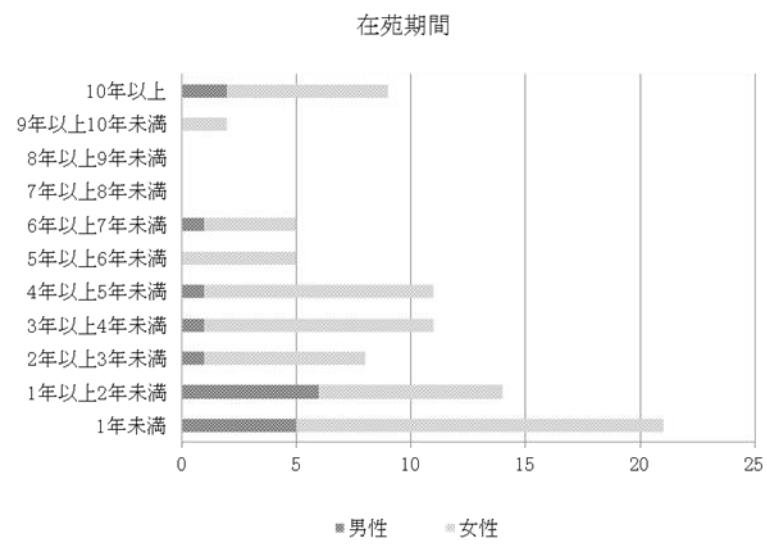
No	日付	性別	年齢	退所事由
1	4月 9日	男	102	施設内看取り
2	4月 10日	女	96	長期入院療養
3	5月 19日	女	89	施設内看取り
4	6月 1日	女	92	施設内看取り
5	6月 3日	女	95	長期入院療養
6	6月 12日	女	99	長期入院療養
7	7月 6日	女	99	死亡
8	8月 28日	女	90	死亡
9	8月 30日	女	93	施設内看取り
10	8月 30日	女	92	長期入院療養
11	9月 11日	男	104	施設内看取り
12	9月 14日	女	90	長期入院療養
13	9月 30日	女	95	病院入院中死亡
14	10月 19日	女	95	長期療養入院
15	10月 28日	女	93	長期療養入院
16	11月 3日	男	85	施設内看取り
17	12月 12日	女	88	長期療養入院
18	12月 23日	女	91	長期入院療養
19	12月 27日	男	91	施設内看取り
20	1月 7日	女	98	施設内看取り
21	1月 15日	女	89	死亡
22	2月 10日	女	93	死亡
23	3月 1日	女	91	長期入院療養
24	3月 5日	女	92	施設内看取り
25	3月 6日	女	96	施設内看取り



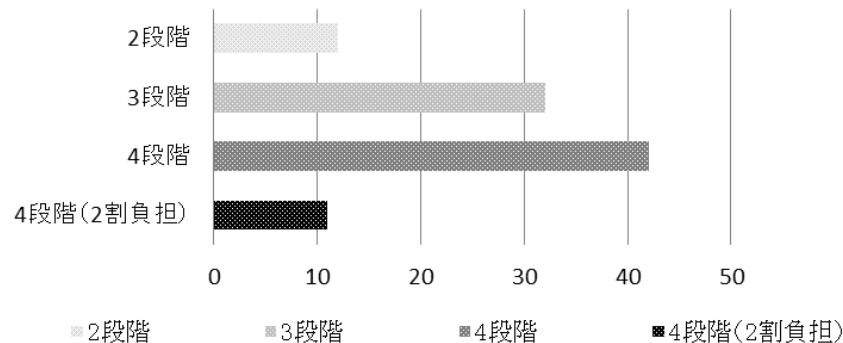
月別入退所者数

在苑期間

期間	男性	女性	合計
1年未満	5	16	21
1年以上2年未満	6	8	14
2年以上3年未満	1	7	8
3年以上4年未満	1	10	11
4年以上5年未満	1	10	11
5年以上6年未満	0	5	5
6年以上7年未満	1	4	5
7年以上8年未満	0	0	0
8年以上9年未満	0	0	0
9年以上10年未満	0	2	2
10年以上	2	7	9
合計	17	69	86
平均在苑期間(年)	3.0	3.8	3.7



利用料負担段階



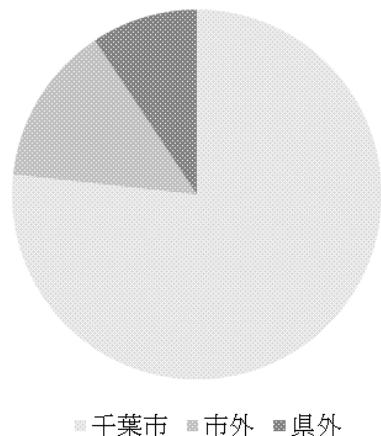
利用料負担段階

負担段階	人数	2割負担
1段階	0	0
2段階	12	0
3段階	32	0
4段階	42	11
合計	86	11

地域状況

	保険者	男	女	計
県内	千葉市中央区	11	38	49
	千葉市稲毛区	0	1	1
	千葉市若葉区	1	3	4
	千葉市緑区	2	5	7
	千葉市美浜区	0	5	5
	館山市	0	1	1
	習志野市	0	1	1
	市原市	1	4	5
	勝浦市	0	1	1
	市川市	0	1	1

地域状況



■千葉市 ■市外 ■県外

	船橋市	0	1	1
	旭市	0	1	1
	八千代市	0	1	1
県外	東京都品川区	0	1	1
	東京都渋谷区	0	1	1
	東京都練馬区	1	0	1
	東京都江東区	0	1	1
	東京都江戸川区	0	1	1
	ふじみ野市	1	1	2
	筑西市	0	1	1
	合計	17	69	86

| 外泊状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	2	2	2	1	4	2	2	2	4	6	1	3	31
日数	6	8	7	4	19	5	7	6	14	23	5	6	110

| 月例別入院状況

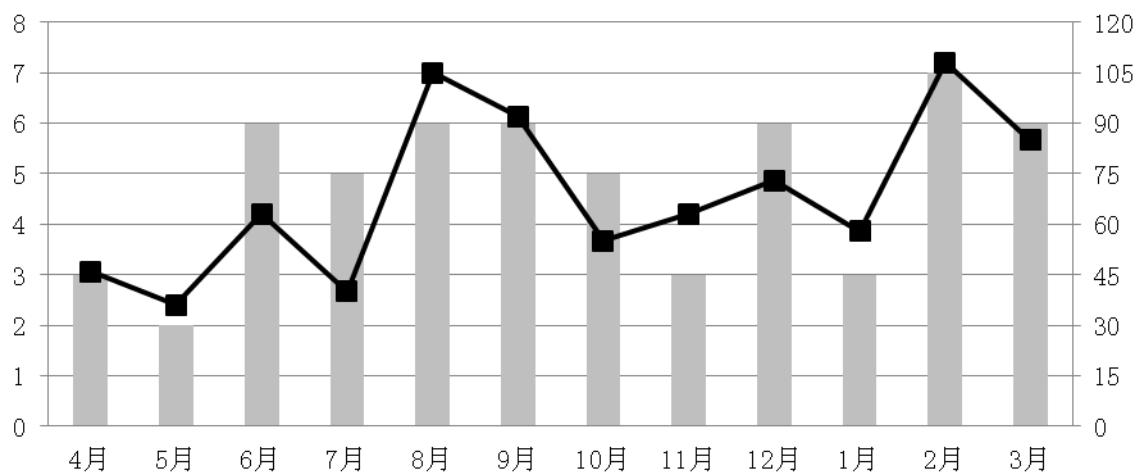
-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
延人数	3	2	6	5	6	6	5	3	6	3	7	6	58	4.83
延日数	46	36	63	40	105	92	55	63	73	58	108	85	824	68.6

| 入退院状況

人 数	入院日	退院日	入 院 日 数	要 介 護 度	性別	年 齢	主な理由	病院	備考
1	3月から継続	4月 10日	10	4	女	96	直腸がん	千葉メディカルセンター	退所
2	4月 5日	6月 6日	63	4	女	95	右大腿骨転子部骨折	おゆみ野中央病院	
3	4月 12日	4月 21日	10	4	女	95	逆流性食道炎	ジェイコーカンテック	
4	5月 27日	6月 6日	11	5	女	84	脳梗塞	千葉中央メディカルセンター	
5	6月 8日	6月 30日	23	3	女	88	右大腿骨頸部不全骨折	千葉中央メディカルセンター	
6	6月 10日	6月 12日	3	3	女	99	誤嚥性肺炎	柏戸病院	退所
7	6月 14日	7月 4日	21	4	女	93	胸水	柏戸病院	
8	6月 23日	7月 6日	14	4	女	90	肺炎	ジェイコーカンテック	
9	7月 11日	7月 24日	14	5	女	91	腎臓結石	千葉中央メディカルセンター	
10	7月 20日	8月 28日	39	4	女	78	左大腿部頸部骨折	千葉中央メディカルセンター	
11	7月 28日	10月 28日	62	4	女	93	脳梗塞	柏戸病院	退所

12	8月2日	8月7日	6	5	女	91	結石粉碎手術の為	千葉中央メディカルセンター	
13	8月13日	8月30日	18	4	女	90	誤嚥性肺炎	千葉中央メディカルセンター	
14	8月18日	9月14日	28	4	女	90	細菌性肺炎	千葉社会保険病院	
15	8月23日	8月30日	8	3	女	92	検査のため	ジェイコーカンパニー千葉病院	退所
16	9月3日	10月19日	47	4	女	93	左大腿骨開放骨折	おゆみ野中央病院	
17	9月23日	10月4日	12	3	男	91	胃潰瘍	青葉病院	
18	9月24日	12月23日	91	3	女	91	右大腿骨頸部骨折	みつわ台総合病院	退所
19	9月26日	9月30日	5	4	女	95	心不全	四街道徳州会病院	
20	10月31日	12月7日	38	5	女	91	右股関節頸部骨折	千葉中央メディカルセンター	
21	11月28日	12月12日	15	3	女	88	圧迫骨折	千葉中央メディカルセンター	
22	12月9日	12月18日	10	3	女	85	胆のう炎	千葉中央メディカルセンター	
23	12月15日	2月14日	62	3	女	87	脱水	千葉東病院	
24	12月26日	12月29日	4	4	男	76	S字結腸過長症	千葉中央メディカルセンター	
25	1月17日	2月26日	41	4	女	93	褥瘡部陰圧療法のため	千葉東病院	
26	1月20日	3月1日	41	4	女	78	右大腿骨骨折	千葉中央メディカルセンター	
27	2月7日	2月20日	14	4	女	78	右腎臓結石	青葉病院	
28	2月12日	来年度へ継続	48	5	男	91	肺炎	四街道徳州会病院	
29	2月20日	3月1日	10	3	女	91	右大腿骨頸部骨折	千葉中央メディカルセンター	退所
30	2月25日	来年度へ継続	35	4	女	78	胃潰瘍・肺炎など	千葉大病院→青葉病院へ転院	
31	3月1日	3月5日	5	3	女	85	ステント抜去のため	千葉中央メディカルセンター	
32	3月5日	3月20日	16	5	女	94	左大腿骨頸部骨折	おゆみ野中央病院	
計		824	一人平均入院期間 25.8 日						

入院状況(月例)



認知症高齢者の日常生活自立度

—	人数
I	2
IIa	7
IIb	20
IIIa	22
IIIb	21
IV	13
M	1
合計	86

オムツ使用者の実人数

—	人数
日中におけるオムツの使用者	22
夜間におけるオムツの使用者	39

医療的ケアが必要な入居者数

—	人数
喀痰吸引（口腔）	7
喀痰吸引（鼻腔）	0
経管栄養（胃ろうのみ）	2

（3）施設相談員・施設介護支援専門員

施設相談員報告

- ・ 入居前調査により個々の個性や生活習慣を把握し、入居後には他職種連携のもと、入居者様一人ひとりの生活を尊重したケアを提供するよう努めた。
- ・ 入居者様の日常において、体調変化・ドクタ一面談・苑内外受診・救急搬送などご家族との連絡・調整に努めた。
- ・ カンファレンス（担当者会議）に参加し、入居者様の状態把握やご家族様への連絡・協力体制の整備に努めた。
- ・ 法話会をはじめユニット毎の行事や合同レク・ミュージックケア・リハビリレク・書道クラブ・ひろの会・編み物クラブなどを通し、自ら選択することや自己決定することで、ご自分らしく生活できるよう支援した。
- ・ 個々の生活空間である居室の整頓や、清潔で居心地のよい環境作りに努めた。
- ・ 入居者様・ご家族様からの苦情・相談に対し相談内容の把握・調査のため、共感とともに話を一通り聞くことにより解決に繋げ、入居者様・ご家族様への処理内容の報告説明やその後の経過観察に努めた。
- ・ 入居者様の1ヶ月以上の入院が見込まれる場合は一旦退所とし、退院時にはショートステイで受け入れ可能な体制をとり、次期入所のスムーズな入所を行った。
- ・ 施設での看取り介護を希望されたご本人様・ご家族様に対し「淑徳共生苑看取り指針」を提示し他職種同席のもと、説明・同意書を取るように日時を設

定し開催した。

- ・苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップと介護者としての資質向上に努めた。

施設介護支援専門員報告

- ・新しい入居者様も多く、入居者様、ご家族様が共生苑での暮らしを「ご自分らしく」安心して過ごせるよう、お一人お一人に寄り添うケアマネジメントに努めた。また、現在入居中の方々へは、新たな「思い」や「希望」を大切に、お話を傾聴し、叶えられるように他職種と検討し取り組んだ。
- ・看取りをご希望の方には、ご本人様が今までに語られた「人生の過ごし方」やご家族様の「思い」を大切に、最期のときまで尊厳ある時間が過ごせるよう、こまめにお話し（カンファレンスを含む）を伺い、各職種とも連携を図り、状況変化に応じたマネジメントに取り組んだ。
- ・介護保険更新の代行申請を行った。また認定調査については、保険者からの依頼により、調査を実施した。
- ・ケアプランについては、6ヵ月に1回を基本に見直し、適切なマネジメントを行う。また、入院や状態変化における見直しについても積極的に行った。その過程ではご本人様、ご家族様とのカンファレンスや他職種との連携を大切に、全職種で皆さまの生活を支えるプランニングに取り組んだ。
- ・苑内での行事やレクリエーション、毎週金曜日の法話会や各ユニット主催のレクに参加し、入居者様の普段とは違う一面に触れながら、「その人らしさ」をみつけられるように一緒に過ごす時間を大切にしてきた。また、ご家族様とも積極的にお話をさせて頂き、関わりを多く持てるように努めた。
- ・苑内外の研修に参加し、専門知識や技術の向上に努めた。

(4) 施設看護

- ・施設医療において、健康に生活できるレベルを保つこと、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え、常勤医師との連携に努めた。施設看護体制の中で、糖尿病のインスリン注射管理・バルン留置（膀胱瘻含む）・胃瘻・癌治療（前立腺癌注射・疼痛管理・CTなどでの経過観察）・骨量

検査・医師の指示のもとで看護師ができる範囲の医療を提供できている。その中でも、効果的に行えているのが、熱症状に対する対応である。診療所受診状況でもわかるように、肺炎や熱の受診が多くなっているが、そのほとんどは、ご自分の居室で内服を中心とした治療をする事ができる。また、疾患の程度によっては、診療所での点滴治療が可能であり、内服と点滴療法の治療でほとんどが回復され、その結果として、入院者の人数も減少している。看護としては、介護との情報連携を円滑に行い必要とされる医療を提供することで、早期治療・早期回復を可能とし、いつもの生活に早く戻していくという目標にすこしでも近づけたのではないかと思う。

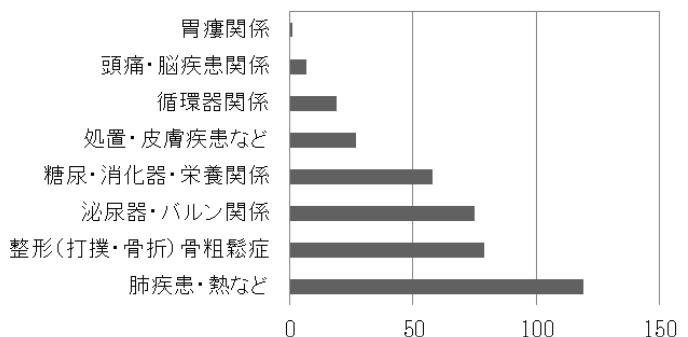
- 看取りを含め、24時間（夜間オンコール）における急変者・体調不良者対応についても、日ごろの健康状態の把握・医師との連携などにより適切かつ迅速な対応に努めることが出来た。また、救急搬送・他病院受診付添い等の救命に関しての体制も、命に係わる責任と認識を常に持ち、誠心誠意の気持ちで対応していった。

さらに、より知識を深めるための研修会・勉強会の参加、他職種とのカンファレンスや家族との話し合い等、より良い対応をめざした。

- 健康診断・体重管理・薬剤管理等、定期的に実施し、健康管理に努めた。
- 訪問歯科との情報を共有し、口腔予防衛生への取り組む体制作りができた。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	受診人数 (延べ)
整形(打撲・骨折) 骨粗鬆症関係	79名
肺疾患関係・熱など	119名
泌尿器・バルン関係	75名
糖尿・消化器・栄養関係	58名
循環器関係	19名
頭痛・脳疾患関係	7名
処置・皮膚疾患	27名
胃瘻関係	1名
合計	385名



| 訪問歯科受診状況

月	診察回数	受診人数(延べ)
4月	4回	28名
5月	4回	29名
6月	4回	29名
7月	5回	39名
8月	6回	31名
9月	6回	37名
10月	5回	30名
11月	5回	29名
12月	6回	26名
1月	5回	28名
2月	4回	20名
3月	3回	18名
合計	57回	344名

| 他医療機関受診状況

診療科	受診人数(延べ)
内科	53名
神経内科・精神科	11名
眼科	11名
癌関係	6名
皮膚科	24名
ペースメーカー管理	4名
耳鼻科	5名
整形外科	23名
胃瘻	4名
合計	141名

| 機能訓練計画について

- 苑内集団活動リハビリとして、外部講師によるミュージックケアによる音楽療法・体操を含めたリハビリクリエーション、アロマオイルなどを使用したハンドマッサージ、職員が担当して行う合同レク（外出レク、おやつレク、出前レク、カラオケ、季節の行事等）を毎月定期的に実施。
他職種連携・協力のもと、筋力低下予防や、認知面の悪化予防、生活の質の向上等をめざし、より多くの入居者が参加できるようにした。
- 各ユニット内での活動として、テレビ体操の利用・歌・個別でのユニット内歩行・散歩・洗濯たたみ・ぬり絵や折り紙等、スタッフとともにできる生活の中で多くの楽しみを作り健康増進に役立てた。
- 臥床時間の長期化における筋力低下を予防するため、寝たきりにしないよう努めた。口腔内の衛生（訪問歯科との情報共有・研修参加）栄養管理として食事摂取状態の観察等も併せて行った。
- 実習生・ボランティアによるレクリエーション実施。



田野先生によるリハビリ



ボランティアの方による編み物指導

特養 機能訓練体制への取り組み開始

平成 29 年 4 月より、非常勤の理学療法士 1 名がご利用者様の身体機能評価及びユニットスタッフへのサポートを月 2 回の頻度にて開始した。

8 月より、機能訓練指導員として作業療法士(非常勤)1 名が週 3 日で長期入所の全ユニット(9 ユニット)を対象として機能訓練を開始、その後 12 月より常勤となり、より新規入所の入居者様への早期対応やカンファレンスの参加が可能になった。

2 月半ばより、さらに個別性のある機能訓練を提供する為、週 5 日、1 日 2 ユニットでの介入を開始した。

今後、より多くの入居者様の身体機能維持のため、平成 30 年度からの個別機能訓練加算取得に向け、当施設での機能訓練は生活リハビリを主とした取り組みを実施していくこととなる。

【具体内容】

- ・ 1 日 2 ユニットでの機能訓練実施を基本とし、月～金曜日の 5 日間で 10 ユニット(長期入所の全ユニット)の介入を行っている。
- ・ 機能訓練対象者の作業療法士による個別対応は週 1 回としている。
しかし、身体状況により個別対応回数は変化するものとする。
- ・ 他職種との連携により生活リハビリの推進を行い、日々の生活の中での機能訓練を実施している。
- ・ 合同レクでのリハビリ体操や、ユニット内での体操・レクの実施を機能訓練の一環として行っている。

機能訓練対象者数

ユニット	受診人数 (延べ)
古里	7名
大海・河川	14名
秀峰・野鳥	16名
名山・野原	18名
星空・大空	15名
合計	70名 (うち入院2名)

1. 記録・情報共有

① 機能相談記録：作業療法士が入居者様の基本情報や日々の機能訓練の経過を記載する。

② 機能訓練業務日誌：ユニット向けの記録を作成。介入した入居者様の状態変化や、ユニットへの取り組み依頼がある場合に主に記載する。

その他 個別の運動プログラム：必要性の高い入居者様へは、OTより自主トレーニングメニューを作成し、日々の運動習慣を促している。

次年度（平成30年度）よりOT側にて実施記録・経過記録・実施計画書等をPCデータ上にて記録・保存していく書式を作成。

2. リハビリ会議の実施

- ・頻度：3か月に1回、第2金曜日を開催。

（平成29年度開催日：6／23、9／22、12／8、3／9）

- ・参加者：事務長、介護長、看護師、生活相談員、ケアマネジャー
ユニットリーダー、理学療法士、作業療法士

【具体内容】

作業療法士から介入状況について

- ・各ユニットからの報告
- ・他職種からの意見
- ・今後の流れについて
- ・検討事項（情報共有の仕方、記録・申し送りについてなど）

(5) 各ユニット

2階「古里・里山」(里山は短期入所)

今年度は職員1人1人の介護技術の向上をはかり、個別支援の視点を忘れずに入居者様により良い生活を送っていただくとともに、笑顔で過ごして頂けるよう支援をしていくという事を目標に取り組んできた。集団の生活の中での個別ケアとして、日々のケアに追われながらも、どのようにしたらその方に合った良いケアが行えるのかをユニット職員で話し合い実施できるよう努めた。

また、昨年度ではレクの実施があまり行えなかつたが、本年は昨年より実施することができた。調理や物を作る事は、普段の様子からはあまり見られない姿や表情をみることができた。

来年度も入居者様・利用者様と信頼関係を構築できるようなコミュニケーションを図り、ゆったりとした時間の中で個々の特性を尊重し、QOLの向上や笑顔につながる様なケアを行っていきたい。

| 年間行事 (全体行事はP8~に記載)

ユニット	月	行事	内容
古里・里山	4月	お花見 おやつレク	ドライブをしながら大巣寺へ行く たこ焼き作り
	5月	母の日レク 鯉のぼりツアー 外出レク	女性入居者へ花のプレゼント・パフェ作り 鯉のぼりを見に行く 近隣のモールに買い物をしに行く
	6月	おやつレク 体操レク	あんみつ作り 職員が考えた体操・ゲームを行う
	7月	七夕	笹を飾り短冊に願い事を書く
	8月	花火大会 納涼祭	生実町納涼花火を鑑賞
	9月	敬老会	長寿の方を祝う
	10月	運動会	入居者様・職員が競技に参加
	11月	焼き芋 おやつレク	合同レクで焼き芋を食べる ホットケーキ作り
	12月	クリスマス会 餅つき おやつレク	入居者とクリスマスの飾りを飾る 餅つき大会に参加 クリスマスケーキ作り
	1月	初詣 昼食レク	合同レクで大巣寺へ初詣に行く 昼食にお鍋を作る
	2月	節分	豆まき
	3月	外出レク	お花見



クリスマスケーキ作り



鍋パーティー

2階「大海・河川」

今年度はスタッフ一人一人が仕事に対してやりがいと責任感を持ち、入居者様が笑顔でその人らしく、望んでいる日常生活ができるよう支援する事を目標に取り組んできた。各居室担当にはニーズの把握をしてもらい、ニーズや変化に伴うケアの変更をユニット会議等で皆と考え、共有しチームでの統一したケアに努めた。また、入居者様の声をもとにレクリエーションを実施し好評であった。引き続き来年度も入居者様の声を大切にしてレクリエーション実施していく。また、ケアについて、多職種・ユニットスタッフ間の連携を密にして、チームとして取り組めることができた。今後は、一つ一つのケースを他職種と共に振り返ることで、これからケアの質の向上に繋げていく。

年間行事（全体行事はP8～に記載）

ユニット	月	行事	内容
大海・河川	4月	お花見	大巌寺に花見に行く
	5月	母の日	母の日を祝う
	6月	父の日レク 買い物 梅ジュース作り	男性入居者に対し、サイフォンにて居酒屋スーパーへ買い物 梅と氷砂糖でジュースを作る
	7月	七夕・スイカ割・納涼祭	短冊に願いを書く・スイカ割をする・苑内行事
	8月	花火・おはぎ作り	生実町花火大会鑑賞・おやつにおはぎ作り
	9月	外食レク（寿司）・墓参り	外食後、本行寺へ墓参り
	10月	買い物レク	ライフガーデン仁戸名で買い物とおやつ
	11月	焼き芋・買い物レク（合同）	焼き芋・買い物
	12月	餅つき・柚子湯・昼食レク	苑内行事・入浴時柚子を浮かべる・昼食に鍋作り。
	1月	苑内初詣・かるた	苑内行事・かるたとり
	2月	昼食レク（出前）	昼食に寿司の出前をとる
	3月	花見	大巌寺に花見（合同レク）・デイ前の桜を花見



10月 買い物



8月 おはぎ作り

3階「秀峰・野鳥」

その人らしく生活頂きたいという個別ケアの観点を念頭に、日々検討、話し合いを重ね、より良いケアを行うように努めた。入居者様方にお喜び頂けるようなレクリエーションも数多く企画・実践しお喜びの声や、普段見る事の出来ないような表情もたくさん見させて頂く事が出来た。次年度についても入居者様の要望を伺いながら、お楽しみ頂ける企画の検討を行っていきたい。

看取り介護については、ご本人様に寄り添い、ご家族様とも連携を密にし、悔いの残らない、穏やかな最期を迎えて頂けるような日々の関わりを行わせて頂いた。今後も看取りの意義を改めて考え、次年度以降のケアに繋げていきたい。

| 年間行事（全体行事はP8～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
秀峰 ・ 野鳥	4月	お花見	合同レクで大巣寺に花見に行く
	5月	母の日・あんみつ作り	おやつレクとしてあんみつ作りを行う
	6月	父の日 梅ジュース・餃子作り	昼食として餃子とチャーハン作りを行う
	7月	すいか割り	ユニット内にてすいか割りを行う
	8月	かき氷 誕生日会 野球観戦 手持ち花火	100歳を迎える方の誕生日会を行う。 プロ野球観戦に行く 苑内で手持ち花火を楽しんで頂く
	9月	お好み焼き作り	おやつレクとしてお好み焼き作りを行う
	10月	運動会	苑内行事として開催される
	11月	芋煮会	昼食として芋煮鍋作りを行う
	12月	オムライス・ハンバーグ作り	昼食でオムライスとハンバーグを作る
	1月	福笑い・カルタ取り	正月遊びとして、福笑いとカルタ取りを提供
	2月	ちらし寿司作り	昼食として、ちらし寿司作りを行う
	3月	雛祭り・桜餅作り	おやつレクとして、桜餅作りを行う



苑内 お花見



すいか割り

3階「名山・野原」

今年度は、入居者様がその人らしく生活できるよう、個別支援の視点に着目しユニットケア向上に努めた。入居者様の声に耳を傾け、職員一人ひとりがケアに対して意識を持って取り組むことができた。ただし、経験値や技術の面で職員の個人差があるため、ケアにバラつきが生じてしまった部分もあった。互いの知識や経験を適宜伝えることができなかったこともあり、次年度では、その点を課題として取り組んでいきたい。ユニットレクでは、入居者様の声を反映させたものができる、たくさんの笑顔を引き出すことができた。

| 年間行事（全体行事はP8～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
名山・野原	4月	花見・昼食レク・おやつレク	お花見・モスバーガー購入・駄菓子を食べる
	5月	母の日・菖蒲湯	母の日を祝う・菖蒲湯に入る
	6月	父の日・昼食レク	父の日を祝う・そうめんを食べる
	7月	七夕・昼食レク	七夕飾りをする・ハンバーガー購入
	8月	おやつレク	アイスクリームを食べる
	9月	昼食レク	うなぎを食べる
	10月	昼食レク	きのこ鍋と炊込みご飯作り
	11月	おやつレク	どら焼き作り・おやつバイキング
	12月	おやつレク・ゆず湯	クリスマス会をする・ゆず湯に入る
	1月	工作レク	節分に向けて鬼のお面作り
	2月	昼食レク	餃子作り
	3月	おやつレク	クレープ作り



8月 アイスクリーム



11月 おやつバイキング

4階「星空・大空」

普段の関わりの中で入居者様やご家族様のニーズを把握できるよう努め、入居者様お一人おひとりの気持ちに寄り添い、その人らしく穏やかな生活が送れるよう、日頃の関わりの中で笑顔で過ごせる時間が多く持てるよう努めた。

今年度も、スタッフ一人ひとりが意識をしながら入居者様との日々のコミュニケーションを取るなかでニーズを把握し、業務の中やユニット会議などでも意見を出し合い、入居者様の笑顔のためケアの向上にも努めていきたい。

| 年間行事（全体行事はP8～に記載

ユニット	月	ユニット内行事	外出
星空・大空	4月	花見ドライブ	桜を見にドライブへ行く
	7月	納涼祭 そうめんレク	入居者様方の交流を図る
	8月	花火	生実町納涼花火を鑑賞
	9月	敬老会 どら焼き作り	苑内で行う
	10月	運動会 ユニモ外出	苑内で行う ユニモへランチへ行く
	11月	紅葉狩り	紅葉を見にドライブへ行く
	1月	初詣 鍋レク	鍋をいただく
	3月	太巻き寿司作り ひな祭り	苑内で実施



10月 運動会



3月 ひなまつり

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

今年度も昨年度から取り組んでいた、利用者様が日々穏やかに生活できる環境作りを継続的に行った。居室環境の見直し、生活の場所としてのリビングのしつらえの設定（テーブル・ソファ・テレビなどの配置の仕方）を検討し、利用者様が集まり語らいながら過ごせる居場所作りに取り組み、定期的にご利用される利用者様方は徐々に施設内の環境にも慣れてきたようであった。また、利用者様お一人一人に職員が関わることができる時間は限られているため、居室で過ごす時間が多い方も日中はリビングで過ごしていただけけるよう声かけし、職員が仲介役となつた。レクリエーションや体操を通じ交流を図ることで全体的に見守りを行えるよう工夫した。

この2点の取り組みを継続したことにより、しばらくすると利用者様同士の関係構築等もみられた。お部屋を行き来し、声を掛け合いリビングで過ごす時間が増え。徐々に余暇活動を楽しむ姿が増えてきた。

今年度は、夏場に稼働率が低くなったことが全体稼働率低下の要因の一つとなつた。

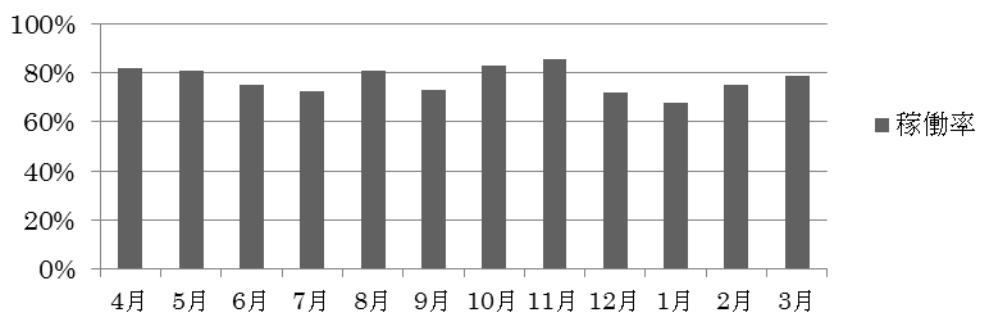
次年度は、在宅のケアマネジャーと多職種とのさらなる連携を図り、急な入院、長期入所にも即座に対応できるようにバランスを図りながらスケジュールを立てていきたい。

また、デイサービスとの利用者情報の共有を図り、食事・排泄・入浴などの基本的な部分で介助に変化がないように努め、次年度も利用者が穏やかに生活できる環境を考え、安全に効率よく運営できるよう取り組んでいきたい。

(1) 年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	9	0	51	15	61	70	40	246	82.0%
5月	2	0	46	23	72	67	40	250	80.6%
6月	3	0	35	13	69	70	35	225	75.0%
7月	3	0	41	14	63	71	32	224	72.3%
8月	3	0	51	31	47	69	49	250	80.6%
9月	5	0	38	21	53	68	35	220	73.0%
10月	5	0	40	30	60	78	44	257	82.9%
11月	0	0	34	35	71	70	46	256	85.3%
12月	0	0	59	28	45	58	33	223	71.9%
1月	0	0	31	32	43	91	14	211	68.0%
2月	0	24	50	51	52	19	13	211	75.3%
3月	0	0	82	31	66	51	14	235	78.7%
月平均								77.1%	

年間稼働率



(2) 利用者状況（平成 30 年 3 月 31 日時点）

利用者年齢・性別構成

年齢	男性	女性	合計
60～69 歳	0	0	0
70～79 歳	1	6	7
80～89 歳	2	6	8
90～99 歳	2	6	8
100 歳～	0	0	0
合計	5	18	23

利用者地域（保険者）

地域	男性	女性	合計
中央区	5	9	14
緑区	0	1	1
若葉区	0	4	4
美浜区	0	0	0
稻毛区	0	2	2
その他	0	2	2
合計	5	18	23

性別・要介護度別利用者数

介護度	男性	女性	合計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	0	0
要介護 1	0	5	5
要介護 2	1	5	6
要介護 3	2	5	7
要介護 4	2	2	4
要介護 5	0	1	1
合計	5	18	23

契約状況

月	新規	中止	中止理由	増減	継続
4月	0	0		0	53
5月	1	0		1	55
6月	2	1	長期入所	1	56
7月	0	1	他施設入所	-1	55
8月	1	2	他施設入所	-1	54
9月	2	1	他施設入所	1	55
10月	2	1	長期入所	1	56
11月	1	1	長期入所	0	56
12月	2	1	他施設入所	1	57
1月	1	0		1	58
2月	1	0		1	59
3月	2	1	長期入所	1	60

7-3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

平成29年度は非常に利用者の出入りの多い年となった。その要因の一つは、総合事業への移行に伴う利用者の移動と、新年度の改正に伴う利用者の増加だ。例年同様、季節の変わり目の体調の変化から、入退院や施設への入所を余儀なくされる利用者様は多かったが、同時に要支援認定者の総合事業への移行による利用者減も多く、稼働率が大きく低迷した。しかし、年末年始から新年度の改正の動きを早めにキャッチし、事業所へ案内を行うことで年明けから多くの利用希望者を獲得することができた。事業内容をコンパクトに、よりシンプルに分かりやすくすることで利用者様本人のサービス利用に係る疲労や負担の軽減と、ご家族またはご家庭への経済的な負担感の配慮をいくらかでもクリアできたのではないかと考える。しかし、事業所的な課題としては依然として職員の充足が図れない事情もあり、改正に救われた部分は否めず、他にやりようの無かった苦肉の策であることが実情である。利用者的にはサービスの一本化による使いやすさのメリットがあるが、その反面、他事業所と比較してしまうとサービスの多様性は失われ、ケアマネ的には融通の利かない事業所と感じられてしまうことは容易に想像できる。

利用希望者が増加していることは好材料だが、それに合わせて職員をボトムアップできなかった事が一番の課題であり、頭を悩ませる部分である。

未だに利用者数のバランスを見ながら調整を図らざるを得ない不甲斐なさ。新年度には何としても体制強化に一石を投じ、法人全体としても更に組織力の強化を図っていきたい。

新年度の動きとしては、居宅介護支援事業所・短期入所生活介護事業所との連携を強化し、各担当ケアマネジャー・生活相談員と利用者情報を共有し、より良いケアにつながるように在宅支援チームとして地域と関わっていきたい。また、運営推進会議・地域福祉連携会議を通じ、生浜地区と生実町内会との連携を深め、地域福祉に貢献できる法人を目指していきたい。

まずは現状の組織基盤の見直し、「人を育てる」ことの再認識から取り組んでいかなければ負のスパイラルから抜け出す事すら難しい。時代も周囲もこれだけ変化しているのだから、10年を超えた施設に何の変化も感じられないようでは未来があろ

うはずもない。自分の意見・思いを発信していける職員を一人でも多く育てられる
ように取り組んでいきたい。

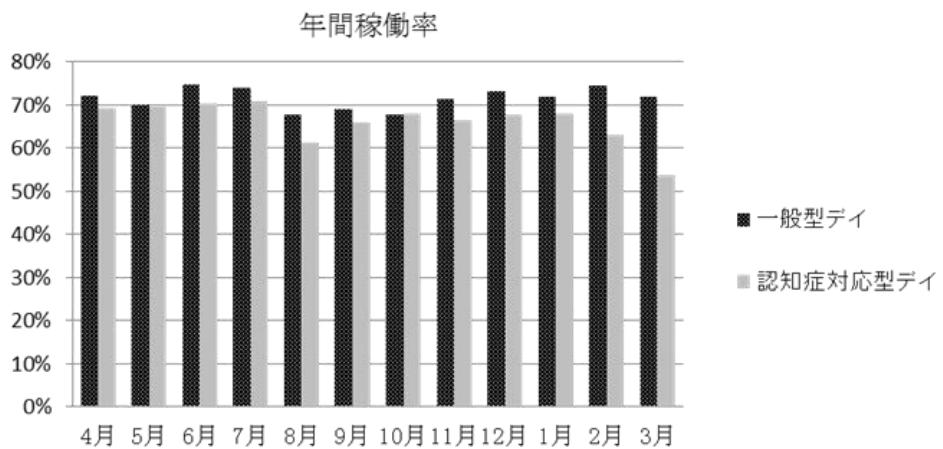
(1) 年間稼働率

| 一般型デイサービス稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	0	37	127	183	68	24	0	439	70.2%
5月	0	37	135	185	91	22	0	470	69.6%
6月	0	47	143	175	93	25	0	479	73.7%
7月	0	38	156	173	98	30	7	502	77.2%
8月	0	39	169	157	103	32	9	509	75.4%
9月	0	39	144	140	106	42	0	471	72.5%
10月	0	38	129	140	103	38	0	448	68.9%
11月	0	18	99	149	98	40	0	404	62.2%
12月	0	13	109	118	88	45	16	389	62.2%
1月	0	12	98	123	86	32	14	365	60.8%
2月	0	8	94	121	97	38	12	362	60.3%
3月	0	0	117	174	93	51	14	449	66.5%
月平均									68.3%

| 認知症対応型デイサービス稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	0	0	0	13	24	5	100	142	56.8%
5月	0	0	0	13	25	4	106	149	55.2%
6月	0	0	0	13	17	0	103	137	52.7%
7月	0	0	0	13	16	0	104	133	51.2%
8月	0	0	0	14	14	0	102	130	48.1%
9月	0	0	0	13	17	0	104	134	51.5%
10月	0	0	0	25	5	0	100	130	50.0%
11月	0	0	1	22	0	0	101	124	47.7%
12月	0	0	20	21	0	0	100	141	56.4%
1月	0	0	0	21	0	22	97	140	58.3%
2月	0	0	0	24	21	43	78	166	69.2%
3月	0	0	0	15	0	46	121	182	67.4%
月平均									55.4%



(2) 利用者状況(平成30年3月31日時点)

契約状況

月	一般型デイ					認知症対応型デイ				
	新規	中止	中止理由	増減	継続	新規	中止	中止理由	増減	継続
4月	0	3	施設入所1、死亡2	-3	47	0	0		0	11
5月	2	0		2	49	0	0		0	11
6月	1	1	入院1	0	49	0	0		0	11
7月	1	2	施設入所1、入院1	-1	48	0	-1	自己都合1	-1	10
8月	1	1	自己都合1	0	48	1	0		1	11
9月	2	4	入所2、入院2	-2	46	1	0		1	12
10月	1	2	入院2	-1	45	0	0		0	12
11月	1	2	自己都合2	-1	44	0	2	施設入所2	-2	10
12月	0	1	施設入所1	-1	43	1	0		0	11
1月	3	2	入院1、自己都合1	1	44	1	1	入院1	0	11
2月	4	2	死亡1、自己都合1	2	46	1	0		1	12
3月	3	1	自己都合1	2	48	0	0		0	12

要介護度別利用者

要介護度	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	3	13	0	0
要介護2	3	13	1	0
要介護3	3	6	1	0
要介護4	3	3	2	1
要介護5	0	1	1	6
合計	12	36	5	7

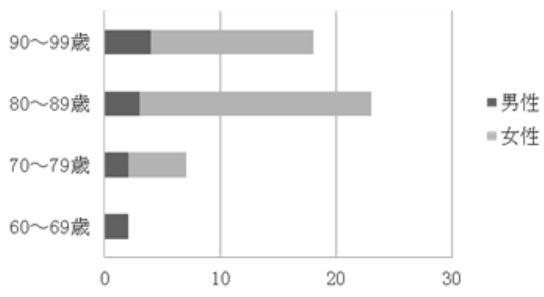
利用者地域(保険者)

地域	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
中央区	10	32	5	5
緑区	1	3	0	1
若葉区	0	0	0	1
その他	1	1	0	0
合計	12	36	5	7

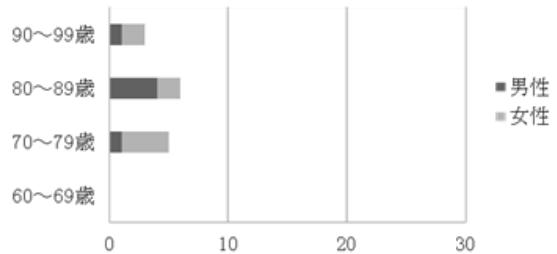
| 利用者年齢・性別構成

年齢	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
60~69 歳	1	1	1	0
70~79 歳	2	3	2	3
80~89 歳	6	19	2	2
90~99 歳	3	13	0	2
100 歳~	0	0	0	0
合計	12	36	5	7

一般型 デイ利用者 年齢構成



認知症対応型 デイ利用者 年齢構成



(3) 年間レクリエーション

月	行事
4月	お花見ドライブ、たい焼き作り、生実町慰問
5月	菖蒲湯、母の日バイキング（昼食）
6月	シルバームーン（カラオケ）、父の日カフェ（おやつ）
7月	おやつレク（クリームあんみつ）、七夕飾り作り、うちわ作り
8月	バーベキュー、かき氷
9月	敬老会、カップケーキ作り、シルバームーン（カラオケボランティア）
10月	デイ運動会
11月	文化祭、鍋パーティ
12月	おでんパーティ、紅白歌合戦、餅つき会
1月	新年会、鍋パーティ
2月	節分・豆まき、シルバームーン（カラオケボランティア）
3月	お花見ドライブ



書道のようす



おやつレク（クリームあんみつ）

回数

月	お昼食 やつ	ミュージック リハビリ レクケア	書道	生花	苑内 レク	外出 レク	合計
4月	3	3	1	1	0	6	14
5月	2	3	1	1	3	0	10
6月	6	3	1	1	0	0	11
7月	6	3	1	0	9	0	19
8月	4	3	1	0	0	0	8
9月	2	3	1	1	1	0	8
10月	0	3	1	1	1	0	6
11月	2	0	1	1	8	0	12
12月	1	3	0	1	1	0	6
1月	2	3	1	1	2	0	9
2月	3	0	0	1	1	0	5
3月	0	3	1	1	0	7	12
合計	31	30	10	10	26	13	121

7-4. 居宅介護支援事業所

平成29年度は4月以降、常勤2名・非常勤1名体制で事業を行い、平成30年1月より常勤3名となった。

今年度もそれぞれ事情をお持ちで在宅生活をされている方の相談をお受けした。急遽支援が必要になった方や病状悪化の方を担当することが多い状況が続いている。

不安と共に背負い、これから起こる状況を予測しつつ、その状況に備えて、必要な手立てを整える為に努力してきた。

地域住民やサービス事業所、地域包括支援センター、行政と共に利用者様の支援を行なっていく事がさらに重要となってきている。

(1) 実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	3	8	25	13	5	5	7	66
5月	3	4	6	24	13	7	4	8	66
6月	3	4	5	24	14	5	4	7	63
7月	3	3	4	26	13	5	4	9	64
8月	3	3	3	25	15	7	4	9	66
9月	4	3	3	25	14	9	5	8	67
10月	3	1	2	24	14	9	4	8	62
11月	3	3	3	24	13	9	4	8	64
12月	3	2	3	24	12	9	4	8	62
1月	3	1	4	22	15	7	3	9	61
2月	3	1	3	21	14	6	4	10	59
3月	3	1	5	26	17	7	5	9	70
月平均									64.2件

(2) 登録者状況（平成30年3月31日時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	合計
男性	2	15	17
女性	4	49	53
合計	6	64	70

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	16
夫婦	13
子ども世帯同居	41
他親族同居	0
合計	70

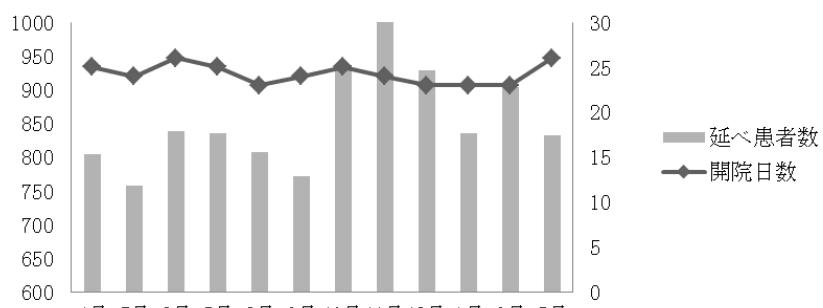
7-5. 淑徳おゆみ診療所

平成29年度の新患登録数は517名であった。入居者様やご家族様、近隣の方々のご利用だけでなく、泌尿器科を求めて遠方より来て下さる方も多くなってきている。

実績報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開院日数		24	24	26	25	23	24	25	24	23	23	23	26	290
延べ患者数		804	758	839	835	807	772	936	1127	929	836	904	833	10380
内健診 (入居者含む)		93	18	114	53	51	27	201	395	131	102	137	58	1380
内 入居者	診察	46	56	61	63	121	100	51	44	61	67	61	75	806
	処方	284	300	252	320	255	257	246	246	281	213	232	234	3120

月別 延べ患者数



主な出来事

4月	入居者定期健康診断
5月	保育園・幼稚園児健康診断
6月	職員健康診断
7月	大巖寺幼稚園職員健康診断
8月	慈光保育園職員健康診断
10月～12月	インフルエンザ予防接種
12月	職員健康診断（夜勤者）
4月～翌年3月	肺炎球菌予防接種（定期接種・市独自事業）
5月～翌年2月	千葉市特定健診・がん検診
他	淑徳大学実習前健診・慈光保育園特定健診

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

平成29年度は中央4圏域を受託して白旗出張所を開設した。広域の地域を担当させていただくこととなった。圏域内人口69,090人、高齢者人口15,720人、高齢化率23.43%で高齢化率が微増している。高齢化が進む中、『地域包括ケアシステムの構築』に向けて柱となる多職種協働による連携体制作りに継続して取り組んだ。

地区社協、連協、民生委員、との連携、地域ケア会議の開催。多職種連携会議の参加と開催。自主活動組織の立上げ支援など積極的、柔軟に連携体制強化促進に努めた。

認知症、虐待事例、精神疾患、要介護者のご家族への支援など様々な課題を抱えた地域住民の相談に対応し、医療、介護、住まい及び生活支援サービスを継続して提供できる地域のネットワークづくりに重点をおき、行政機関、サービス提供事業者等とも連携しながら支援に努め、多くの相談をいただいている。

| 総合相談支援業務・権利擁護業務について

相談経路として親族、民生委員、医療機関、行政からの相談を多くいただいた。

相談内容としては、昨年同様、介護保険制度・サービスに関することが多く、申請代行、退院後の生活支援も多数携わらせていただいた。認知症に関する相談も多く、認知症初期集中支援チームに年間を通して関わっていただいた。認知症の方とそのご家族様への支援の手掛かりとして認知症ケアパスの活用を進めた。認知症キッズサポーター養成講座は2年目となり、圏域内の4つの中学校で1年生を対象に開催。更に認知症徘徊者声かけ訓練にも中学生が参加くださり、若い頃から認知症について考え、地域で支えていくという礎を築いている。また、利用者様ご自身または家族が精神疾患のある方からの相談も多く、複合的な問題を有する方の生活支援が増加している。経済的困窮者に対して引き続き社会援護課との連携を密にとり携わらせていただいた。

権利擁護については、総合相談でのスクリーニング、消費者被害や成年後見制度についての講座を開催し、制度の普及啓発に努めた。虐待に関する相談も多く、行政や介護支援専門員等と連携しながら対応させていただいている。成年後見制度の利用に向けての相談も多くなっている。センター内での情報共有やカンファレンス、

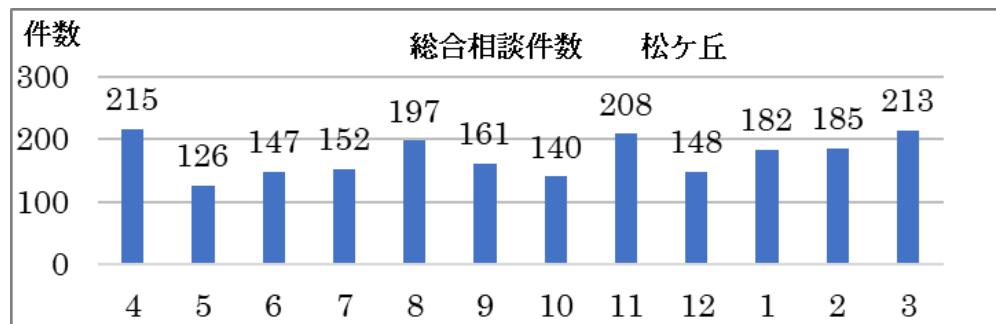
地域包括ケア推進課への相談、高齢障害支援課と連携を密にとり対応をした。

町会自治会連絡協議会、社会福祉協議会地区部会、民生児童委員協議会等、地域の方との連携を深め、地域ケア会議開催、多職種連携会議開催など協働の機会が多かった。

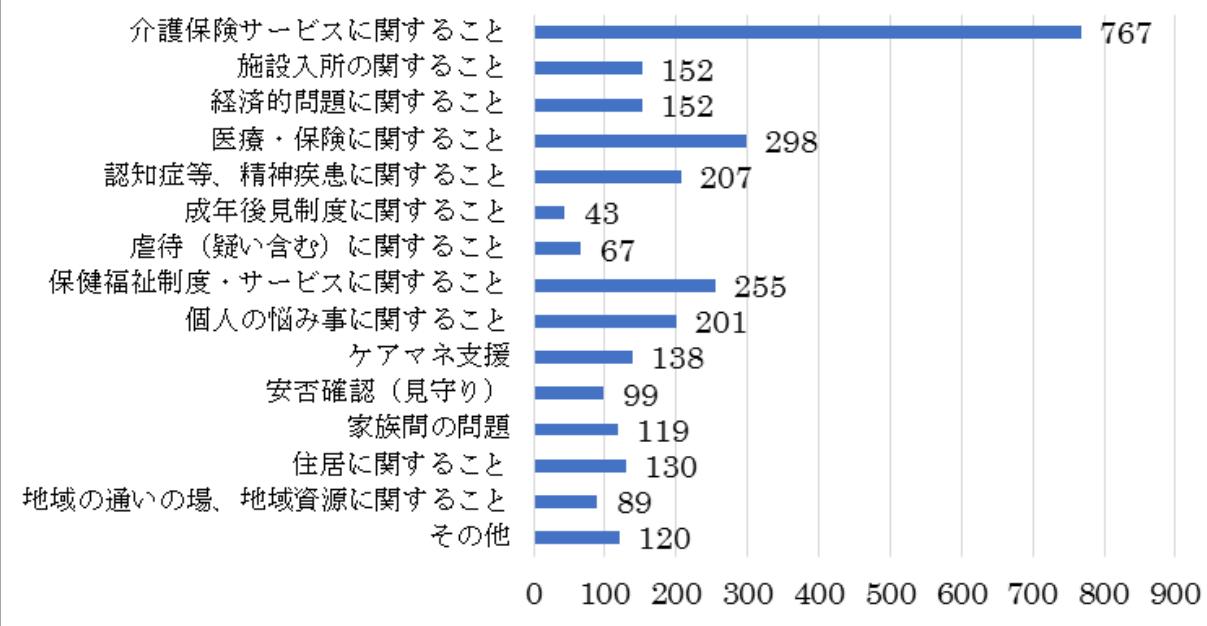
総合相談件数

平成 29 年度 総合相談件数 松ヶ丘

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	215	126	147	152	197	161	140	208	148	182	185	213	2074

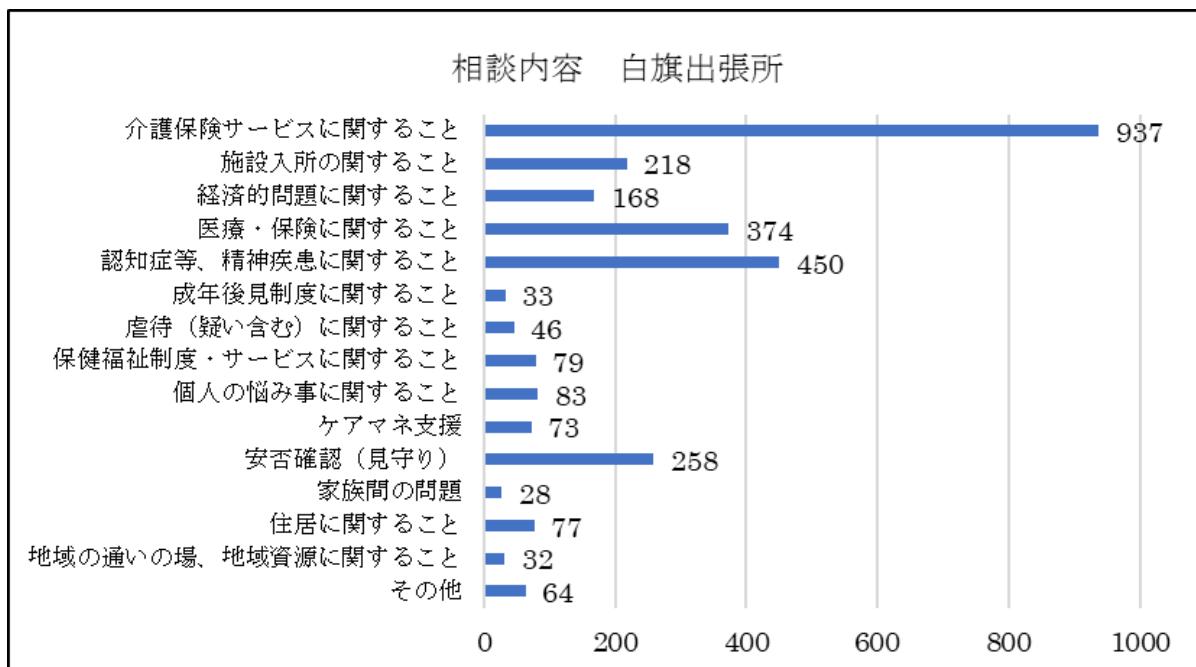
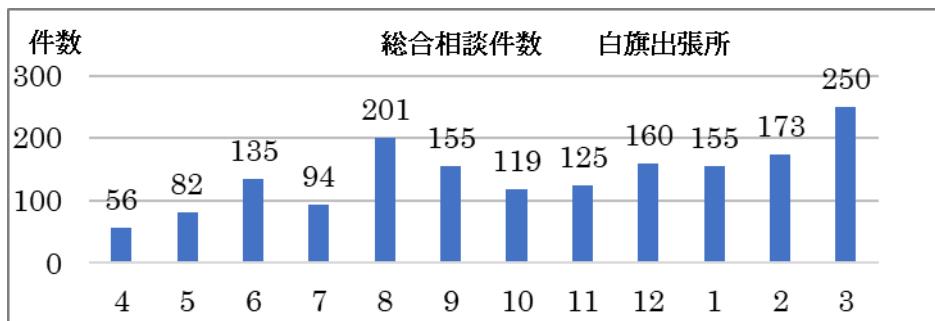


相談内容 松ヶ丘



平成 29 年度 総合相談 件数 白旗出張所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	56	82	135	94	201	155	119	125	160	155	173	250	1705



29 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	
契約数	松ヶ丘	直営(予防)	52	55	62	63	61	65	62	64	69	68	64	62	747
	白旗	直営(予防)	93	88	86	82	82	77	71	66	55	50	44	45	839
	委託(予防)		315	300	292	278	249	235	231	217	208	192	160	153	2830
	総数		460	443	440	423	392	377	364	347	332	310	268	260	4416
	松ヶ丘	直営 (A)	0	2	3	7	22	13	19	25	38	41	47	49	266
	白旗	直営 (A)	0	5	7	9	12	17	22	23	22	23	26	29	195
	委託(A)		13	26	31	47	63	75	79	86	90	94	102	112	818
	総数		13	33	41	63	97	105	120	134	150	158	175	190	1279

1.介護予防普及啓発活動

クラフト教室

センター職員が講師となり、あんしんケアセンター松ヶ丘は第4水曜日、白旗出張所は第4木曜日にクラフト教室を行っている。多いときで20名ほどの参加があり、クラフトを製作することで達成感を得て楽しい時間を過ごしていただいている。クラフト終了後はおしゃべりを楽しんでいただき、地域の皆様が継続して参加できる場や交流の機会をつくっている。簡単な体操を行っているので、健康や介護予防についての体操や情報交換を行なう場にもなっている。定期的に開催することで、閉じこもりの予防となっている。



クラフト教室作業風景



クラフト教室での作品



	松ヶ丘	白旗		松ヶ丘	白旗
4月	12名		9月	15名	6名
5月	7名	4名	10月	14名	3名
6月	10名	3名	11月	14名	6名
7月	8名	2名	12月	18名	6名
8月	14名	6名	1月	13名	10名
合計	51名	15名	合計	74名	31名
延べ参加人数 171名					

2.介護予防活動支援

(1) 白旗1丁目いこいの場

千葉市健康課と協同で、白旗1丁目にお住まいの高齢者の方を対象に白旗会館で毎月1回行っている。いこいの場では、血圧を測り皆様が持参された手帳に記載している。血圧が高かった方には、お薬をきちんと服用しているか、定期受診はしているかと声をかけさせていただいている。1月のいこいの場では、いきいき活動手帳を交付

し、セルフマネジメントについてお話をさせていただいた。

実施内容・参加者数

実施月	講座・教室名	参加人数	備考
4月	年度初めのご挨拶、お口の話	12名	健康課
5月	認知症予防、体操	10名	
6月	楽しく笑って認知症予防(落語)	16名	健康課
7月	健康の話、脳トレ、リズム体操	9名	
10月	転倒骨折予防のために～話と体操～	11名	健康課
11月	ヒートショックについて、脳トレ、体操	9名	
12月	もうすぐクリスマス	13名	
1月	いきいき活動手帳交付、体操、脳トレ、冬の歌	10名	



教室での風景

(2) 大巣寺シニアリーダー体操

大巣寺地区は高齢化率も高くまた公共の交通機関も少なく買い物や外出することが難しくなっている地域である。大巣寺老人会さんが主催者となりシニアリーダーさんを含めあんしんケアセンターで連携し「誰でもできる・どこでもできる・すぐできる」を目的に今年度6月から始まった。

第2・4金曜日 大巣寺自治会で10時～11時で開催している。1回の参加者数は25名程度である。来年度は出前講座やクラフト教室なども開催していく予定。

(3) 南町団地 うきうきスクール

千葉市健康課と共同で千葉市営住宅南町団地にお住まいの高齢者の方を対象に2か月に1回行っている。

うきうきスクールでは、はじめに参加者の血圧測定及び体調の確認や健康についてお話を。その後音楽療法や落語、クラフト行っている。うきうきスクールに参加していただくことで、高齢者が多くお住いの南町団地の課題を速やかに組み上げられるようにしている。



クラフトの様子

実施内容・参加人数

日時	講座・教室名	参加人数	
5月23日	音楽療法・茶話会	18名	健康課
7月9日	健康講座・クラフト	3名	
10月3日	楽しく笑って認知症予防(落語)	19名	健康課
12月19日	クラフト教室	1名	

(4) 松ヶ丘おさんぽクラブ

社協松ヶ丘地区部会の主催で第2・4月曜日10時～12時松ヶ丘公民館での活動を行っている。松ヶ丘公民館を集合場所とし散歩コースが用意されている。一時間程度かけて散歩を行う。毎回20名を超える参加がある。あんしんケアセンターの関わりとしては、散歩前の血圧・握力測定を行いながら健康状態や日常生活の様子を聴いていく。また、地域で行われるイベントのお知らせや季節に合わせた健康に関するアドバイスを行っている。

(5) ラジオ体操（小塚台公園・白旗公園）

白旗出張所では、近隣にある小塚台公園と白旗公園の2か所で週1回ラジオ体操を行っている。体を動かすことで、介護予防を行っていただくと同時に、地域の集まりの場の提供や、民生委員さんの参加もあり、近隣にお住いの課題を抱えた方を速やかに発見、相談の場ともなっている。

またスタンプカードを配布し、毎回スタンプを押させていただいている。年度末には、景品を用意し、多くの方に来ていただけるように工夫をしている。年に2回は握力、足趾力を測っている。体力測定をきっかけとして、足趾力が弱いと転倒しやすくなるとお伝えしたり、70代の平均値をお知らせしたりすることで、ご自分の体の状態に关心を持っていただきたいと考えている。



小塚台公園でのラジオ体操の様子



スタンプカード

(6) 仁戸名さくら会

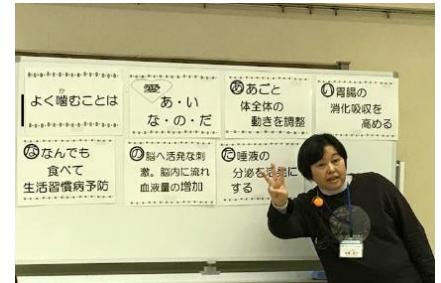
「元気でいるために身体は動かした方がいいと思うけどひとりだとなかなかできない。そんなあなたも仲間と一緒にがんばれる」を合言葉にサークル活動として始まった。第1・3金曜日10時～12時に星久喜町のさくら会館で活動している。

会の運営はサークルの方が行い、あんしんケアセンターは脳トレの準備、健康に関すること地域で参加できる活動の場の情報提供、いきいき100歳体操を一緒に行っている。

半年に一度は中央区健康課の協力を得て、認知症予防・口腔ケア・健康管理について講座を開いています。今年度は千葉中央警察の方に来ていただき、千葉市内の犯罪や交通事故の状況について話していただいた。

参加者人数

日時	参加者数	日時	参加者数
4月17日	25名	9月1日	13名
4月21日	21名	9月15日	22名
5月6日	25名	10月6日	21名
5月19日	22名	10月20日	18名
6月2日	25名	11月	お休み
6月16日	21名	11月17日	24名
7月7日	22名	12月1日	19名
7月21日	19名	12月15日	19名
8月	お休み	1月18日	23名
合計	180名	合計	159名
延べ参加人数 339名			



口腔ケア講座のようす

(7) 星久喜南部町カフェ

星久喜町で、誰もが集える場、人が繋がる場を持つことを目的に平成27年に始まり今年の1月で60回開催することができた。

月1回、木曜日の10時～12時 星久喜町南部会館で講座、健康体操はいきいきプラザ千葉中央の介護予防指導員が講師役となり行っている。ミニ講座は毎回テーマごとに各専門職の方に依頼し開催している。

実施内容・参加人数

実施月	講座内容	講師	参加者数
4月	ギター歌声ライブ	茶屋御殿デイサービス	17名
5月	脳トレ	あんしんケアセンター松ヶ丘	22名
6月	座ったままできる体操	いきいきプラザ介護予防指導士	24名
7月	成年後見人の役割について	千葉市後見 後見人センター	25名
8月	オレオレ詐欺・還付金詐欺から身を守る	千葉市消費生活センター	29名
9月	日常生活を安全に送るための講話	千葉中央警察署 安全課	20名
10月	口腔ケア	中央区歯科衛生士・保健士	17名
11月	高齢者の栄養管理・インフルエンザ対策	中央区管理栄養士・保健師	22名
12月	高齢者の口腔ケア	淑徳大学看護栄養学部 久代先生	18名
1月	高齢者が心がけたい食生活	淑徳大学看護栄養学部 平澤先生	18名

延べ参加人数 212名



ギター歌声ライブのようす



座ったままできる体操

(8) 認知症徘徊模擬訓練

白旗地区 (10月6日実施) 松ヶ丘地区 (10月11日実施)

あんしんケアセンターとして認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの一つとして認知症徘徊模擬訓練の実施を検討した。地域の事業所からの声も上がり、松ヶ丘中学校地区地域運営委員会と実行委員会を立ち上げ実施することになった。中学生から80歳までと幅広い年代の方の参加があった。中学生には認知症の理解を深めてもらうため、あんしんケアセンターが講師となり事前学習を行い当日20名の生徒が訓練に参加した。



訓練のようす



コースをわかりやすく表示

(9) 自主活動（いきいき百歳体操）

あんしんケアセンター松ヶ丘 白旗出張所では、事務所の近隣の住民の方に一部開放している。現在では、毎週火曜日の10時からいきいき百歳体操を行っている。こちらで、機材とDVDを用意させていただいているが、基本的には自主運営グループとして活動していただいている。

参加者人数

実施月	参加者数	実施月	参加者数
4月	14名	9月	11名
5月	18名	10月	23名
6月	8名	11月	12名
7月	15名	12月	16名
8月	15名	1月	14名
合計	70名	合計	76名
延べ参加者数		146名	



体操のようす

(10) 弥生が丘健康サークル いも煮会

弥生が丘の健康サークルの方から、11月に地域でのイベントを行いたいと相談があり5月より打ち合わせを始めた。健康サークルの方はいも煮・バザー（花の苗、漬物、手作り品）の用意をした。あんしんケアセンターはヘルスUP実体験として体力測定（握力測定、体前屈、片目を開けての片足立ち）・介護相談・クラフト教室を開催した。

クラフト教室ではクリスマスツリーをその場で作っていただいた。



(11) 出前講座

あんしんケアセンター松ヶ丘 白旗出張所では、地域の皆様のさまざまなご相談をお伺いする他にも、地域の皆様や介護支援専門員等を対象に出張講座や教室を開催している。昨年4月に開所した白旗出張所は、まだまだ知られていないセンターの活動を皆さんに知っていただけけるよう、普及に力をいれている。

講座実施状況

実施日	講座・教室名	対象者	場所	参加人数
6月15日	あんしんケアセンターについて	南町長寿会	南町共栄会館	45名
6月29日	あんしんケアセンターの活用術を学ぶ	60歳以上の高齢者	宮崎公民館	30名
7月12日	あんしんケアセンターについて	60歳以上の高齢者	ロイヤルコート京葉 蘇我管理棟集会室	30名
8月17日	介護サービスについて	南町共栄会地域	南町共栄会館	45名
9月8日	シニアリーダ一体操	地域住民	大巖寺自治会館	13名
10月25日	成年後見制度について学ぼう！	白旗地区住民の方	白旗会館	10名
11月15日	成年後見制度について学ぼう！	南町共栄会地域	南町共栄会館	55名
11月29日	消費者被害を防ごう！	白旗地区住民の方	白旗会館	17名
12月15日	寒い冬を元気に乗り切ろう！	南町長寿会	南町共栄会館	51名
延べ参加者数				296名

(12) いきいきサロン

社協が行なう「いきいきサロン」にもお邪魔させていただき、あんしんケアセンターについて周知させていただき、地域の方と顔の見える関係を築いている。

実施日時	講座名	対象	場所	参加者数
6月2日	地区社協いきいきサロンについて	地域住民	花輪町弥生が丘自治会館	11名
9月12日	地区社協いきいきサロン 生活習慣予防	地域住民	花輪町弥生が丘自治会館	16名
11月6日	地区社協いきいきサロン 転倒予防	大森向台の高齢者	大森台向台自治会館	9名
延べ参加人数				36名

(13) 一人暮らし高齢者の会

年に1回お一人で生活されている高齢の方に民生委員さんが呼びかけ、地域でのつながりを作ることや、引きこもり防止を予防する目的で行っている。今年はあんしんケアセンタ一体操やクラフト教室を行った。

クラフト教室では鉛筆たてを作った。参加者同士で協力しあうことで会話もはずみ、完成したときは皆さんよい笑顔をされていた。



クラフト教室のようす



(14) 淑徳オレンジカフェ

淑徳大学看護栄養学部とひだまり運営委員会が中心となり地域の方・認知症を持つ方やそのご家族の地域交流の場として10月から認知症カフェ（淑徳オレンジカフェ）が松ヶ丘地区で始まった。看護学生による健康教室、絵手紙講座などが行われている。あんしんケアセンターも参加者の呼びかけや会に参加し地域の方との交流を深めている。

3. その他

24時間薬局モデル事業・介護相談会

松ヶ丘圏域の介護職員の方と近隣薬局（薬剤師）との関係を強化、24時間薬の相談のできる薬局を千葉市薬剤師会と共同でモデル事業として平成29年10月～平成30年1月まで行なった。

周知活動として10月25日松ヶ丘公民館で

- 1) モデル事業の説明
- 2) 24時間薬局（薬剤師）との顔合わせ
- 3) 知っておきたい薬の豆知識



をテーマに顔合わせを兼ねた勉強会を開催し、圏域内13か所のケアマネジャーさんが参加された。また12月14日蘇我地域の薬局で介護相談会とお薬の説明会を行なった。参加者からは「今回の相談会で薬局、薬剤師さんが身近な存在に感じられるようになりました」との感想を頂いた。

4. 地域支援活動

川戸地区見守り隊・お助け隊

平成24年から川戸見守り隊の活動が行われている。近年高齢化が進むなで個々

の抱える課題が複雑化し見守り隊員の活動が難しくなってきてている。そこで現状把握のために、隊員の方の困りごとや不安についてアンケートをおこなった。回収数37名だった。

（1）川戸地区

＜地資資源支え合い会議＞

第21地区町内会自治会連絡協議会（川戸地区）会長、生活支援コーディネーター、あんしんケアセンター松ヶ丘職員で第一回の話し合いを行った。次年度は川戸地区の資源の調査を行い地域の状況を把握していく。

（2）松ヶ丘中学校地区

＜地域運営委員会 円卓会議＞

松ヶ丘地区では地区運営推進委員会を月一回実施している。参加者は各町内会、病院、学校、福祉施設などから約50名の出席がある。各団体からの報告がありその後町内で行われる行事の検討などが行われる。

あんしんケアセンターの活動を周知する場となり、地区の協力を得られることでセンターの活動を行いやすくしていただいている。

＜見守り隊活動＞

見守り隊活動は民生委員さんがコーディネーターとして活動を展開している。年2回活動報告と学習会が開催されている。1回目はコーディネーターから「見守り活動」のおさらいと内容の充実にむけて。千葉市社会福祉協議会から「見守り活動事業について」の講演があった。

2回目はあんしんケアセンターから、活動の留意点やあんしんケアセンターの周知を行い困りごとがあった時の連携についてお伝えした。

（3）星久喜地区

＜地域運営委員会＞

星久喜地区では地域運営委員会を始めるための準備を進めた。あんしん千葉寺と地域が重なるため2センターで共同している。2月25日最終の打ち合せを地域で行い、次年度から地域運営委員会を開催していく。

7-7. 栄養

平成29年度は、多職種による会議・カンファレンス等をもとに生活全体を含めた栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の改善・維持を目指した。ご家族様や他職種と情報を共有することで、入居者様にとってより良いケアについて考え取り組むことができた。

また、食事に関するレクリエーションは前年度より充実した内容のものを行うことができ、入居者様の状態や嗜好に合わせたレクリエーションをユニットごとに行えた。

前年度に引き続き、淑徳大学看護栄養学部の臨地実習を引き受けた。前年度の反省を活かし、学生が実習を通して多くのことを学び、感じてもらえるよう指導を行った。

栄養管理状況

形態等	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μgRE)	VC (mg)
常食(米飯)	1,650	65.0	44.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100
常食(全粒)	1,500	59.3	40.0	225.4	8.3	650	7.0	700	100
食事摂取基準	1,650	63.0	45.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100

食事摂取基準は日本人の食事摂取基準(2015年版)をもとに、淑徳共生苑特別養護老人ホームに入所されている利用者の年齢・性別・身体レベルから算定。

栄養摂取状況

月	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μgRE)	VC (mg)
4月	1621	58.7	44.8	239.1	8.4	515	6.4	696	105
5月	1662	59.2	46.1	245.2	8.8	517	6.1	694	107
6月	1624	59.5	45.2	237.3	8.6	507	6.5	669	106
7月	1653	58.9	45.6	244.8	8.9	518	6.3	694	112
8月	1637	57.3	46.6	239.2	8.8	507	6.1	616	104
9月	1648	58.6	46.5	240.7	8.5	527	6.5	688	104
10月	1650	58.9	46.8	240.6	8.7	530	6.5	673	112
11月	1657	58.6	46.7	242.9	8.5	521	6.8	715	97
12月	1649	58	46.1	243.5	8.5	517	6.4	705	96

1月	1670	58.6	46.8	245.7	8.7	512	6.4	667	98
2月	1655	56.6	46.5	245.1	8.6	501	6.3	674	100
3月	1652	57.9	47.1	241.1	8.6	526	6.7	715	108
合計	19778	700.8	554.8	2905.2	103.6	6198	77	8206	1249
平均	1648	58.4	46.2	242.1	8.6	517	6.4	684	104

禁食一覧

主食類	魚・肉類	野菜・果物類	その他
・麺 6	・魚 1	・なす 2	・温泉卵 2
・ラーメン 1	・鰯 1	・青菜 1	・とろろ 3
・赤飯 1	・ほつけ 等 1	・春菊・山菜・ 1	・ヨーグルト 2
・カレー 5	・ツナ 2	・レンコン・	・きのこ 1
	・肉 3	竹の子	・餃子 1
	・納豆 10	・おくら 2	・りんご 1
		・揚げ物 3	

行事献立実施状況

月	日	献立内容
4月	6日	セレクト食 (天丼・ねぎとろ丼)
	18日	セレクト食 (鰯の木の芽焼き・新玉ねぎの肉じゃが)
	28日	降誕会行事食 (竹の子ごはん・魚の煮付け・茶碗蒸し)
5月	15日	母の日行事食 (太巻き・天ぷら・ようかん)
	19日	セレクト食 (春キャベツの回鍋肉・そら豆とえびのかき揚げ)
	30日	セレクト食 (照り焼きチキン丼・しらす丼)
6月	15日	千葉県民の日(鰯のさんが焼き)
	22日	お楽しみランチ(スコッチャッケ・鰯の梅煮)
7月	7日	盂蘭盆会行事食(稻荷ずし・天ぷら)
	23日	納涼祭(焼きそば・焼き鳥・フルーツゼリー)
	25日	お楽しみランチ(うな丼・牛丼)
9月	12日	お楽しみランチ (南瓜のコロッケ・きのこソースハンバーグ)
	18日	敬老会行事食 (赤飯・天ぷら盛り合わせ・かつおのたたき)
	28日	お楽しみランチ(揚げ出し豆腐・秋鮭のムニエル)
10月	20日	お楽しみランチ(ロールキャベツ・鰯の揚げおろし)

	31 日	お楽しみランチ(ハヤシライス・クリームシチュー)
11 月	9 日	お楽しみランチ(ネギトロ丼・かつ丼)
12 月	1 日	成道会行事食 (まぐろの刺身・天ぷら盛り合わせ・茶碗蒸し)
	25 日	クリスマスマニュ
	26 日	(エビピラフ・フライ 2 種・ケーキ)
	31 日	もちつき (お汁粉)
1 月	1 日	年越しそば
	7 日	おせち(赤飯・おせち料理盛り合わせ)
2 月	2 日	七草粥
	3 日	涅槃会(太巻き・赤魚の粕漬け焼き・いちご)
3 月	3 日	節分料理(いわし料理・五目煮豆)
	12 日	桃の節句行事食(ちらし寿司・天ぷら・ようかん)
	29 日	お楽しみランチ (かつおのたたき・和風ひじきハンバーグ)



桃の節句 (ちらし寿司)



おやつバイキング



昼食レク (餃子作り)

8. 各委員会・部会活動報告

各種委員会を設置し、他事業も含めた全職員が参加して、改善すべき課題について検討を重ね、必要に応じて内部研修等を行った。

入所判定委員会（随時）

リスクマネジメント委員会（随時）

感染症対策委員会（毎月第1火曜）

【インフルエンザ発症】

平成29度のインフルエンザは流行が例年より早く、中には高熱の出ない隠れインフルエンザというもので微熱でも注意が必要だった。基本的な手洗い・うがいを強化していた中、インフルエンザ感染者が多数、出てしまった。

4Fユニットで入居者様3名、スタッフ1名 計4名が発症される。

全員がインフルエンザB型にてタミフルを5日間（朝・夕各1錠）服用される。

予防のため、タミフルを4Fスタッフとナース1名が8日間（朝1錠）服用する。

2Fユニット（古里）で入居者様4名（里山）で利用者様1名、スタッフ3名 計8名が発症される。

全員がインフルエンザB型にて、入居者様1名がイナビルを1回吸入、6名がタミフル5日間（朝・夕各1錠）服用される。里山1名インフルエンザB型にて病院受診後、入院となる。

予防のため、タミフルを2Fユニット（里山・古里）スタッフ7名とナース2名、入居者様2名 計11名が7日間（朝1錠）服用する。2名の入居者様は居室対応が難しく感染防止という事でご家族様の同意のもと、予防投与する。

その後、他のユニットでは発症・感染はなく終息を迎える。

【MR SA】

1名、入所時より鼻腔から検出される（2月5日入所）

入所時より感染対応行う。

医師指示にてイソジンにて嗽。2回／日施行

3月22日再検査にてMR SA (-)

【緑膿菌】

2名、尿から検出される。

内1名は菌量少量 特に治療はなし

1名は2月25日菌量 3+ (クラビット服用)

3月28日菌量 1+ (ミノマイシン服用)

4月26日再検査予定

以前、作成したマニュアルを参考に感染ごとに対応していたが、感染対策は根拠なく実施するものではなく、効果のある感染予防や防止が出来るように、正しい知識と知識に基づいた対策を確実に実践する必要があるため、それぞれのマニュアルを見直し新たなマニュアルを作成した。

身体拘束廃止委員会（毎月第1水曜）

今年度は、リーダー・サブリーダー・他職種との連携を密にとり、共生苑として身体拘束の廃止を取り組むことができた。身体拘束を行っているケースは、1ケースごと丁寧に見直しを行った。拘束することに対してご家族希望が強いケースが多く、身体拘束についてのご家族への理解は、今後の課題となる。身体拘束の解除までには至らないが、部分的（時間）な解除を実施して廃止に向けて取り組んでいる。

今年度は、3名増加して4名となった。

転倒抑止・徘徊察知目的のセンサー使用者は相変わらず多い状況で、昨年度から6名の増加となった。使用の解除となるケースもあるが、増加の原因は歩行や立位が不安定な新規の入居者様が多い事が考えられる。引き続き下肢筋力低下が原因で、立位や歩行が不安定になり転倒するケースが後を絶たないことから、いち早く動きを察知し、事故を未然に防ぐ対応を行っている。使用の際には、その方の行動抑制になる使用は厳禁とのルールを作り実施している。

センサー使用については、日々の使用状況を詳細に把握するよう記録を用いることで、解除に繋がるようになってきた。会議にて情報共有を徹底し、今後も解除に向けて努めていく。引き続きスタッフ全員が、共生苑での身体拘束の現状と取り組

みを認識できるように情報を共有化に努めていく。

事故防止委員会（リーダー会議内・随時）

各部署からのヒヤリハット・事故報告を基に、予防・対応策の検討を行った。

- ・ ヒヤリハット報告の意識も定着してきており、ユニット内での情報共有ツールとして活用できたように感じる。記録するケースを手間としないよう、小さな気付きでも書くことを習慣としていく。
- ・ 今年度も転倒・骨折などの事故が多く見られた。中にはユニット内の物品による事故もあり、ハード面の見直しも検討する必要がある。
- ・ 転倒・転落等、相変わらず多い状況だが、誤薬などの人為的ミスも続いているので、その都度原因を調査し改善策を検討していく。
- ・ 相変わらずセンサー等を使用する入居者が増えている状況。センサー頼りにならないよう、見守りや巡視の工夫とセンサーの鳴動による入居者のストレスなどにも配慮していく必要がある。身体拘束廃止委員会との情報共有・連携を図っていく。
- ・ 事故については委員会内で内容と対応・対策について報告し情報共有を行う。同様の事故を未然に防げるよう周知していく。ヒヤリハットの情報をユニット会議などで活用し、ユニット職員が同じ視点で事故防止に取り組めるようにしていく。小さな気付きでもそのまま見過ごすことのないよう、記録に残していく。

教育・研修委員会（毎月第1水曜）

- ・ 年度初めに施設長による「援助者としての基本姿勢～専門職の行動と価値観を育む」の研修会でスタートした。
- ・ 新任職員や現職員の技術面の再確認として恒例ではあるが基礎介護技術（食事・入浴・排泄・褥瘡・トランス）についてユニットリーダー・サブリーダーを講師として講義・実践を交えて年間5回行った。
- ・ 必須研修の「食中毒について」、「事故防止対策について」、「感染症（インフルエンザ／ノロウイルス）」、「権利擁護／虐待について」、「身体拘束廃止について」など各部署・委員長・外部講師による研修を実施した。
- ・ その他「喀痰／吸引について…基礎知識と手順」、「苦情の対応について」など

外部研修参加職員や専門分野の職員による講義と、「看取りについて」は NHK スペシャル「老衰死」の画像を観ることにより講義とする取り組みを実施した。

- 外部講師による「頸関節症とは」、「背骨が動けば腰痛にならない身体になれる」、「ハンドタッチケア」、「オムツについて」、「低栄養の栄養管理」、「介護用品について」など幅広く職員が受講したいと希望する研修を取り入れ実施した結果、全体的には多くの職員に高齢者福祉施設に勤務するための必要な基礎的知識・技術の習熟を図ることができたのではないかと思われる。
- 苑内で他ユニットの入居者状況や運営状況を知るためにユニット交換研修を2回実施した。
- 苑外研修者発表として「権利擁護／身体拘束」「ユニットケア部会研修」の2人の発表をした。
- 年度末に参加回数を集計し上位者を表彰することにより、さらなる研修への関心や向上心など参加意欲に繋がるように努めた。

給食委員会（毎月第4水曜）

日々の給食についての反省点や検討事項などを協議することを目的に、毎月1回委員会を開催した。それぞれの職種や厨房職員が意見交換を行い食事に関する情報交換や共有を図り、レクレーションや献立の企画を目指した。今年度もセレクト食を行い、食事を選んでいただく機会を設けた。また、麺料理のリクエストが多い為、セレクト食のかわりに週1回麺料理を提供する月も設定した。次年度も引き続き、利用者様のリクエストを取り入れた食事や季節感のある献立作成に取り組んでいく。

排泄・褥瘡委員会

現在、施設において褥瘡のある入居者は2名で、少しずつではあるが改善に向かっている状況である。診療所医師や、淑徳大学の褥瘡専門の先生にも月1回、相談やアドバイスをいただき治療に取り組んできた。

その他の皮膚のトラブルについては、褥瘡のリスクがあるかその他の原因によるものかの評価をし、対応の方法をそれぞれに検討していった。重症化による臥床時間の長期化に対しては、ベッド上や車椅子での耐圧測定やマットの評価を行い、褥瘡リスクとなる原因の除去に努めた。また、ユニットスタッフとの連携により、情報交換・

処置の協力体制などを円滑に行っていった。

皮膚トラブルの中で特に多いのが、便の回数や症状(下痢)によるただれが原因となり、表皮剥離となるケースであった。医師と相談の上、排便コントロールを積極的に行い、併せて適切な軟膏の処置を早期に始めることで悪化を予防していくことができた。

排泄委員会でもオムツ・パットの定期的な見直し等に取り組んでおり、肌に優しく吸收率の高いものを使用することにより皮膚へのトラブルはだいぶ良い方向にむかったと思う。

更に排泄パターンのアセスメントや下剤に頼らない排便コントロールについてもお互いに相談し合い、統一したケアに繋げることが出来た。

行事委員会（毎月第1水曜）

今年度も年4回の宗教行事を中心に、季節毎に恒例となった行事を滞りなく開催することができた。宗教行事と合わせて披露されるアトラクションも地域のボランティアの方々が様々な披露をしてくださった。春のお花見に始まる共生苑の年間行事は、大巣寺の桜を見て巡り、夏の一大イベントである納涼祭は天候にも恵まれ、当日プログラムに一部変更があったものの盛大に開催することができた。今年度もグラウンドでの開催で飛翠迅様のよさこい演舞、紅嶽太鼓様による和太鼓披露と、入居者様との距離も近くとても有意義な時間であった。秋には敬老会、開所10周年記念式典を行い、入居者様、ご家族、来賓の方々、職員が多くの催し物や記念式典に参加し、例年ない行事となった。年末には恒例の餅つき会が行われ、今年度の餅つき会もおゆみホールでの餅つきとなり新年を迎える準備を入居者様の方々とご家族様を交えて皆様で楽しむことができた。

大きな行事だけでなく、毎月の書道クラブや法話会を行う上で、実習生や家族会の皆様、地域ボランティアの皆様の協力が欠かせない存在となっており、誘導や見守りのお手伝いや、会場の設営などにもご協力いただいている。

今後もボランティアの方々、ご家族、また地域の皆様の協力を得て、入居者様のQOL向上を目指し楽しい行事を企画・実施していきたい。



降誕会



納涼祭



淑徳共生苑 10周年記念式典のようす

広報委員会（毎月第2火曜）

第37号を4月、38号を7月、39号を10月、40号を2月に発行した。今年度は4月の法人内事業所の職員紹介をはじめ、皆さんに興味・関心をもっていただけるような誌面作りに務めた。苑内行事の写真撮影、ポスター掲示も例年通り行った。

リーダー会議（毎月第1水曜）

毎月、月初め、月末と各ユニットのリーダー・サブリーダーと各職種で、ケアの見直しや苑全体としての情報共有、各職種との意見交換を行った。

次年度はリーダー・サブリーダーそれぞれが、リーダーとしての自覚・役割の認識を強く持てるようにする。また引き続き、働きやすい職場となるように、業務の見直し等を行っていく。

記録部会（毎月リーダー会議時に実施）

職員の入れ替わりがある中で、職種の決裁印など現状とあっているものに整理し、記録内容の見直しを行った。

次年度も記録がケアに必要な記録となっているか、介護日誌とケア日誌の書き方や記録用紙などの見直しを行っていく。

リネン部会（毎月リーダー会議時に実施）

掛け布団の年次交換を適切な時に実施することができた。「ベッドマット・枕・ベッドパット」の洗濯依頼方法についての見直しを行った。褥瘡予防マット等の使用状況や保管場所なども見直し、適切に使用できるようにした。コスト削減への意識は、次年度以降も課題といえる。

入浴部会（毎月リーダー会議時に実施）

各浴槽の故障については随時、修理・交換を行い、入居者様が快適に入浴できるように努めた。今後も、入浴環境の故障や不備に関する報告連絡の徹底を図りたい。3階の大浴場を10周年記念事業の一つとして、入居者ニーズに合わせて中間浴槽を導入。各ユニットで必要な入居者様に使用して頂けている。今後は脱衣所などより入居者様に適切な環境になるよう検討していく。

季節によって菖蒲湯・柚子湯など入居者様に入浴を楽しんでもらえた。

レク部会（毎月リーダー会議時に実施）

今年度は合同レクの活動にて、外出や外気に触れる機会を持つことができた。他職種の協力のもとまたユニット合同で、サイフォンを利用して居酒屋などのレクリエーションを行い入居者様にとって良い時間を提供できた。次年度も利用者様のニーズに沿えるように対応していきたい。



カルタとり（1月）



外出レク（葛西臨海水族園へ外出）

9. 防災対策報告

消防訓練については、例年通り各部署ごとに初期消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練を中心に行った。自然災害に備え、地域の防災拠点として重要な役割も担っていくため、あんしんケアセンターと各福祉事業所を中心に自治会・社協等地域組織と連携し、非常時に機能するよう備えを検討していく必要がある。職員各自が日頃から防災意識を高め、生浜地区・生実町内会との連携を進めていきたい。

防災実績

月	時間	訓練	内容
毎月 1回	適宜	消防用設備自主点検	1. 消火器 2. 消火栓 3. スプリンクラー 4. 自動火災報知機 5. 放送設備 6. 非常ベル 7. 誘導灯 8. 建物等の自主検査
8月 17日 2月 9日	定期	消防設備法定点検の実施	1. 消火器 2. スプリンクラー 3. 自動火災報知機 4. 消防署通報システム（非常通報電話） 5. 非常警報器具及び設備 6. 誘導灯及び誘導標識 7. 非常発電設備など
6月 27日	15:00 ～ 15:20	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
8月 15日	14:00 ～ 14:20	総合訓練（夜間想定）	2階ユニットにおいて、夜間における火災時の役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
9月 25日	15:00 ～ 15:20	総合訓練	3階ユニットにおいて、火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
2月 23日	14:20 ～ 14:40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
3月 30日	15:00 ～ 15:20	総合訓練（地震想定）	4階ユニットにおいて、大規模地震を想定した火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。

10. 法話会活動報告

参加者数が平均 37 名、多い時には 45 名を超える、入居者にとっても楽しみな行事のひとつとなってきている。時事にからめた講話や頭の体操・歌など、内容も多岐にわたり、講師方とのふれあいの機会を楽しみにしている方も多い。また、参加するボランティア・実習生などにも貴重な学びの場となっている。

時間・場所 毎週金曜日 10:00~11:00 (60 分) 4 階 月影堂

参加者 講師 9 名による当番制で 2~3 名、入居者 24~38 名、
家族、ボランティア 4~5 名、実習生、職員 2~7 名

| 法話会実施状況

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人數計	主な内容
4月	7 日	32	0	5	2	0	2	41	体操、紙芝居、季節の歌 3 曲
	14 日	29	0	5	2	0	1	37	共生苑 10 周年の入居者・職員の紹介ほか、歌 2 曲
	21 日	26	1	4	3	0	2	36	各宗派の数珠のかけ方、恨みの連鎖、歌 2 曲
	28 日	40	1	3	12	0	5	61	降誕会
5月	12 日	34	0	5	3	0	2	44	漢字クイズと対話、一人暮らしの心掛け
	19 日	29	0	5	2	0	1	41	3 人の追悼文紹介、西方浄土の話、歌 2 曲
	26 日	39	2	4	3	0	3	51	追悼文紹介、体操・紙芝居、御詠歌、歌 1 曲
6月	2 日	28	0	5	5	0	2	40	バベルの塔を問う、紙芝居「地獄巡り」、歌 2 曲
	9 日	29	1	4	4	0	2	40	京都長谷寺の話題、曹洞宗の修行の様子や剃髪
	23 日	24	0	4	4	0	2	34	頭の体操、極楽と地獄、みんな一緒に「ご縁の話」
	30 日	22	0	4	3	0	2	31	追悼文紹介、紙芝居「みんなで七夕」、歌 1 曲

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
7月	7日	39	0	5	17	0	8	69	盂蘭盆会
	21日	29	1	4	4	0	1	39	追悼文紹介、この世に絶対不変の真理はあるか
	28日	25	0	4	3	0	2	35	お施餓鬼について、終活一生きることについて
8月	4日	28	0	3	4	5	1	41	納涼祭をスライドで振返る、過去帳紹介、歌2曲
	25日	25	0	4	3	0	2	34	言葉遊びほか、資料「一人で悲しむことなれ」
9月	1日	22	1	4	3	0	1	30	地蔵盆の話、「端世」住職の資格を頂く行事
	8日	23	0	4	2	0	2	29	石川県での研修、頭の体操「数字合わせ」、歌2曲
	15日	24	1	4	3	0	1	33	追悼文4名紹介、歌2曲
	29日	26	1	3	4	0	2	36	体操、紙芝居「まほうのこなぐすり」、歌1曲
10月	6日	25	0	4	3	0	1	33	9月・10月の行事スライド紹介、歌2曲
	20日	24	0	4	4	0	2	34	季節の茄子の話題、永平寺の紹介と修行の話題
	27日	20	1	4	4	0	2	31	日常のお勤めの話題、断捨離のお話、目の体操
11月	10日	23	0	4	4	0	1	32	柔軟体操、紙芝居「貧乏神と福の神」、歌2曲
	17日	28	0	3	4	0	1	36	中国敦煌旅行話—三蔵法師・兵馬俑展など
	24日	25	0	4	1	0	2	32	追悼文紹介、「お釈迦様を知ろう」成道会に向け
12月	1日	27	0	4	11	0	9	51	成道会
	8日	24	1	4	2	1	2	34	体操、大きな本「花さき山」、歌1曲、御詠歌
	15日	25	0	4	3	0	1	33	介護川柳紹介、ちばTV施設紹介の番組を放映
	22日	27	1	4	3	0	2	37	追悼文3名紹介、「苦を感じてこそ」、鬱を乗り越えて
1月	12日	24	0	4	2	0	2	32	寺の大掃除、寺の新年の様子、干支について
	19日	24	1	4	4	0	1	34	追悼文、新年の年の字を稔・燃のお話、歌2曲
	26日	19	0	4	4	0	1	28	金沢研修の紹介、記念講演の講師の話題、歌1曲
2	2日	23	1	3	10	0	7	44	涅槃会

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人數計	主な内容
月	9 日	20	0	4	2	1	2	24	体操、大きな絵本「にんじん・ごぼう・だいこん」 北風長者の話、御詠歌
3月	2 日	29	0	4	3	0	2	38	月食の話題、30 年の略歴表、父母を思う回向文の紹介
	9 日	26	0	3	4	0	2	35	新聞記事紹介、紙芝居、歌、彦一話、桜の話
	23 日	27	0	4	3	0	1	35	追悼文 4 名紹介、究極の幸せとは—4 つの思い
	30 日	33	0	4	2	0	2	41	18 歳と 81 歳の違い、春彼岸、仕方がないと思う
合計		1,046	14	156	159	7	87	1,469	



宗教行事（成道会のようす）



法話会のようす

11. ボランティア受入報告

今年度も定期的なボランティアのほか、行事のボランティアなど、多くの個人やグループ、地域のご協力をいただくことができた。

日程	活動内容	活動場所、イベント	所属（グループ名）	人数
毎週月	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週火	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週木	喫茶の運営	喫茶サイホオン	—	2名
毎週金	喫茶の運営、勤行の見守り	喫茶サイホオン	—	2名
不定期・継続	車椅子の修繕、点検	特養ユニット・デイ	—	1名
第1・3月曜	書道	特養ユニット	コスモス会	2名
第1・3月曜	書道の見守り・誘導	特養ユニット	—	1名
不定期・継続	華道	デイ	—	1名
不定期・継続	書道	デイ	—	1名
毎週金曜	勤行の誘導・見守り等	勤行	—	5名
隔週木曜	傾聴	特養ユニット	—	1名
隔週金	歌の演奏・合唱	特養ユニット	ひろの会	1名
毎週火・金	軽作業・諸活動の手伝い	松ヶ丘白旗出張所	淑徳大院生中国留学生	1名
5月16日	車椅子清掃	郵政労組奉仕活動	J P労組	18名
5月21日、 7月14日、 9月29日 11月28日、 2月23日	カラオケ披露	デイ	シルバームーン	3名
6月22日	ハーモニカ演奏・歌	特養ユニット・デイ	ビバーチェ	14名
7月7日	日本舞踊	盂蘭盆会	角栄舞踊会	8名
7月23日	和太鼓	納涼祭	紅嶽太鼓	8名
7月23日	盆踊り	納涼祭	葉月会	20名～
7月23日	盆踊り	納涼祭	紅獄太鼓	8名
7月23日	見守り	納涼祭	淑徳大生	5名
7月23日	模擬店手伝い	郵政労組奉仕活動	J P労組	20名
11月3日	和太鼓	特養ユニット・デイ	蘇我太鼓	5名

11月 21日	日本舞踊、フラダンス	特養ユニット・デイ	生実町婦人会	10名
11月 29日	清掃奉仕	玄関下駄箱清掃	元入居者家族	3名
12月 7日	日本舞踊・フラダンス	特養ユニット・デイ	生浜地区生実町みつる会	8名
12月 1日	日本舞踊	成道会	角栄舞踊会	6名
12月 14日	トーンチャイム	クリスマス会	結	12名
12月 26日	餅つき	餅つき大会	ご家族等	4名
1月 11日	ニューイヤーコンサート		淑徳大学 看護栄養学部生	50名～
				約 228名

| 喫茶サイホン実施状況

月	稼動日	コーヒー	紅茶	梅昆布茶	ココア	緑茶	季節茶	合計
4月	20日	286	14	56	33	9	49	447
5月	20日	267	7	99	37	6	0	416
6月	18日	231	2	109	38	13	0	393
7月	19日	249	4	99	40	10	0	402
8月	16日	238	6	91	26	10	0	371
9月	19日	294	10	133	42	9	0	488
10月	18日	223	2	64	24	8	149	470
11月	19日	220	0	92	30	3	41	386
12月	16日	218	0	70	33	4	36	361
1月	16日	159	0	40	19	1	24	243
2月	3日	30	0	13	2	2	2	49
3月	20日	213	8	56	43	8	30	358
計	204日	2628	53	922	367	83	331	4384



車椅子清掃



ハーモニカ演奏



喫茶サイホン



舞踊披露

12. 家族会報告

発会から 7 年目となり、年 2 回の清掃奉仕、敬老会、もちつき大会の共催には毎回多数のご家族様の協力が得られた。又、10 月 1 日の淑徳共生苑開苑 10 周年記念式典への役員への出席と 10 周年記念樹として〔もみじ〕を寄贈した。

その他、平成 29 年度は以下のように運営された。

活動内容

頻度・日時	内容
6 月 4 日	第一回役員会・清掃奉仕・総会・懇談会
9 月 18 日	敬老会に紅白饅頭を提供
10 月 1 日	淑徳共生苑 10 周年記念式典
12 月 9 日	第二回清掃奉仕・懇談会
12 月 26 日	もちつき大会
随 時	共生苑職員へ祝い金支給、ポロシャツ支給
随 時	退所者へ香典、餞別支給



家族会総会



淑徳共生苑開苑 10 周年記念式典



10 周年記念樹

